



Mapping OPALE for IBM i









M-Designer 導入・利用ガイド

第2版



● このガイドの目的

M-Designer(エム・デザイナー)は、Mapping OPALE(マッピング・オパール)用の帳票を設計す るための、PC上で稼働するツールです。このガイドは、その M-Designer を PC へ導入して設定 し、帳票設計を行えるようになることを目的としています。

Mapping OPALE の導入方法や使用方法は、『Mapping OPALE 導入・利用ガイド』をご参照ください。

● このガイドが想定している読者

このガイドは、PC 上で稼働する M-Designer の導入、設定や帳票設計に携わる方を対象としています。そのため、Windows の操作が可能な一般的なユーザーを、読者として想定しています。

• M-Designer とは

M-Designer は、Mapping OPALE の機能を使って PDF ファイルを生成したり、連続用紙への印刷を白紙のカット紙への印刷に切り替えたりするために必要な、「帳票設計」を行うためのツールです。

ライセンスとしては、Mapping OPALE に付属し、コピー・フリーになっていますので、複数の PC にインストールしてご使用いただいても、ライセンス費用が追加で発生することはありません。

Windows PC や Windows Server 上で、スプールファイルを画面に表示したり、設計した結果の 帳票イメージを画面で確認したりすることによって、効率的に設計できます。

豊富な種類の設計機能があって、お客様の帳票に対する様々なご要望を実現します。



	目次	
--	----	--

第1章 M-Designer を PC にインストールする	
1.前提 OS と PC の要件	5
2. 今まで MapDraw を使用していた場合	5
3. M-Designer をインストールする	
4 M-Designer の共有フォルダーを設定する	8
4-1. 予め接続方法について検討する	
4-2. M-Designer の設定を行う	
第2章 M-Designer の基本を知る	
2.1 M-Designer 画面を使用する	
① 画面の分割	
② 画面の拡大・縮小表示	
③ "DrawF" 画面と "MapF" 画面	
④ 座標と行・桁	
⑤ 位置とサイズの調整	
⑥ スプールデータのページを移動する	
⑦ プレビュー	
2.2 M-Designer の基礎を理解する	
2.3 帳票設計作業の流れを理解する	
第3章 M-Designer を使って帳票設計する	26
3.1 pag ファイルを作成する	
3.2. 新規プロジェクトを定義する	
3.3 帳票イメージを貼り付けて、設計のひな型とする	
3.4 スプールファイルのデータをマッピングする	
3.5 オーバーレイを設計する	
3.6 プロジェクトを生成し、フォーマットを取り込む	
3.7 フォーマットの取り込みで発生したエラーに対応する	
第4章 M-Designer の他の機能を使用する	52
41 データを1 次元バーコードで表示すス	52
4.2 データを QR コードで表示する	



4.3 メモリーゾーンを使って、複数のデータを連結して QR コードで表示する
4.4 メモリーゾーンを使って、数値を3桁区切り表示にする56
4.5 ゾーンに対して、実行するための条件を設定する 58
4.6 ページ全体に対して条件を設定して、鑑と明細のページを切り替える
4.7 データに対応したイメージを表示する
4.8 透過型のイメージを表示する
 4.9 INDEX ゾーンを活用する
4.10 XPS ファイルをオーバーレイとして取り込む70
変更の履歴



第1章 M-Designer を PC にインストールする

1. 前提 OS と PC の要件

- Windows 7, Windows 8, Windows 10 以上
- Windows Server 2003, 2008 R2, 2012 以上
- 16GB 以上のメモリー
- 50MB のインストール用空きディスク容量
- 1GB 以上のデータ保管容量

2. 今まで MapDraw を使用していた場合

- M-Designer は MapDraw の後継製品です。従って、MapDraw で作成したプロジェクトファイルを M-Designer で開いて、編集・保存することが可能です。しかし、逆に、M-Designer で作成したプロ ジェクトファイルを MapDraw で開こうとすると、エラーとなり開けません。
- M-Designer は、デフォルトでは言語="XPS" のプロジェクトファイルを生成します。Mapping OPALE では、初めに XPS 形式のファイルを作成し、それを PDF、PCL、ZEBRA 等の形式に変換す る処理を基本としているためです。元々 MapDraw を使って、言語を "PCL5" や "ZEBRA" で作成し たプロジェクトファイルを、M-Designer で編集するには、予め M-Designer の"設定"を変更します。
- 3. システム(IBM i、Power System、AS/400)上の Mapping のバージョンが、Mapping OPALE の場合 は、プロジェクトの作成・編集や生成は M-Designer で行ってください。
- MapDraw がインストールされている PC に M-Designer をインストールして共存させることも可能で す。その場合、一旦 MapDraw をアンインストールしてから M-Designer をインストールし、次に MapDraw をインストールするという順番で行ってください。
- MapDraw をアンインストールするには、Windows の"設定"→ "アプリ"を選択し、MapDraw に対し てアンインストールを実行します。その後、Windows のレジストリ エディターを起動し
 - て、"¥HKEY_CURRENT_USER¥Software"にある"¥Mapping"というキーを削除します。
 - 注1) レジストリ エディターの操作を間違えると Windows が起動できなくなる可能性もありますので、十分注意して行ってください。
 - 注2) レジストリ エディターは、Windows の"ここに入力して検索"欄に"regedit"と入力すると、起動 できます。

3. M-Designer をインストールする

- 1. インストール用フォルダー"C:¥M_Designer"をCドライブの直下に作成します。
 - 注) インストール・プログラム実行中に、インストール先としてデフォルトで表示されるフォルダ ー"¥Program files"は、フォルダー名にブランク文字を含みます。これが原因で M-Designer の動作 が不安定になる可能性があるからです。"C:¥M_Designer"のように、ブランク文字を含まない、英 数文字で指定されたフォルダー名であれば、任意の名前で構いません。
- インストール・プログラムのファイル(M-Designer_setup_xxxx.exe:xxxxx はバージョン番号)を、 PC上のC:¥Temp等の一時保存フォルダーに保存します。



- 3. このファイルに対して、右クリック→"管理者として実行"を行います。
- 4. 次の画面が表示されますので、"Next >"ボタンをクリックして、インストールを開始します。



5. 使用許諾契約の画面が表示されますので "Yes" ボタンをクリックして、同意します。



6. 次の画面が表示されたら、インストール先のフォルダーを変更するために、"Browse…" ボタンをクリ





7. 次の画面が表示されるので、手順 "1" で用意したインストール用フォルダーを指定して "OK" ボタン をクリックします。

Cł	noose Folder	? ×
	Please select	the installation folder.
	Path:	
	C:¥M_Desig	ner
	Directories:	
		M_Designer
	>	NGTinstall
	>	OneDriveTemp
		PAGES関連
		PDFPOPUP
	>	PerfLogs
	>	
	>	
	~	Program Files (x86)
		ОК + ヤンセル

8. 宛先フォルダーが指定したものに変わったことを確認したら、"Next >" ボタンをクリックします。



9. インストールが始まり、終了すると次の画面が表示されます。"Finish" ボタンをクリックして終了します。

M-Designer Setup	
	InstallShield Wizard Complete End of installation. Thanks for choosing MAPPING !
2	Click Finish to complete M-Designer Setup.
	< Back Finish Cancel



- 10. バーコード用のフォント・ファイル(Barcode_fonts.zip)を、PCのC:¥Temp 等の一時フォルダーに保存して、解凍します。
- 11. 解凍された全てのバーコード用のフォントに対して、右クリック → "すべてのユーザーに対してイン ストール"を行います。

注) "インストール"を選択しても、M-Designer でこれらのフォントを使用できるようになりませんの で、ご注意ください。

					-	- 0)
			インストール(I)		1		\sim
	•		すべてのユーザーに対してインストール(A	.)	L		
edia ≯	MAPPKG1707 > MapDraw_Ur		OneDrive に移動(M)		rcodeの検	读	۶
^	名前		7-Zip	>	l le	サイズ	
	Dent ut		CRC SHA	>		10 1/0	
	BC25E.ttf	ß	共有		r J	10 KB	
	BC25EL.ttr		ウイルフバフター Carm での始志		r J	25 KB	
	BC255.ttt	9	- 91ルスハスター Corp. Cの検索		r J	3 KB	
	BC255L.ttt		送る(N)	>	Г Л L Л	4 KB	
	PC20 Patia 21 Hf		切り取り(T)		r 7	O KD	
			⊐ピ−(C)		г 7 ь 7		
		-			Г 7 5 Л	12 KB	
i.	BC128A TTE		ショート/Jツト0/1FPX(5) #URA(D)		ь т	16 KB	
	BC128N TTE		削 际(D)		57	26 KB	
	BCCodabarttf	_	名前の変更(M)		h 7	14 KB	
	BCCodabarl.ttf		プロパティ(R)		h 7	16 KB	
	BCEan.ttf	_	2008/10/01 10:01	TrueType 7x	ソトフ	4 KB	
	BCEanL.ttf		2008/10/01 10:01	TrueType 77	ントフ	9 KB	
	BCJapanPostal.ttf		2008/10/01 10:01	TrueType 77	ットフ	зKB	
	BCPlanet.ttf		2008/10/01 10:01	TrueType 77	ットフ	з КВ	
	BCPostNet.ttf		2008/10/01 10:01	TrueType 77	ソトフ	3 KB	
	BCUPCA.ttf		2010/09/29 14:56	TrueType 77	ットフ	8 KB	
	BCUPCE.ttf		2010/09/29 14:56	TrueType 77	ットフ	9 KB	
				2.1			

4. M-Designer の共有フォルダーを設定する

4-1. 予め接続方法について検討する

M-Designer をインストールしたら、次に共有フォルダーの設定を行いますが、どのような共有方法を選択する かが、特に複数のユーザーが M-Designer を使用する場合には重要です。

Mapping OPALE は、システム(IBM i、Power System、AS/400)上で稼働して PDF ファイルを生成したり、印 刷データを生成したりするために、システム上の IFS(統合ファイルシステム:システムのディスクの区画の一 部)に保管した帳票設計ファイル(プロジェクト・ファイルと呼びます。)や、フォントのファイルに含まれるフ ォントのイメージを使用します。そのために、それらのファイルは、Mapping のプログラムが想定している IFS 上の特定のフォルダーに保存されている必要があります。

M-Designer が稼働する PC と、IFS 上のフォルダーを接続するには、次の 3 通りの方法があります。それぞれ の方法には得失がありますので、それを良く理解した上で最適と思われる方法を選択するようにしてくださ い。





A. 共有フォルダーを PC 上に持って、IFS と FTP 通信する方式

M-Designer をインストールした PC のディスク上、IFS と同じ"¥mapping"というフォルダーを作成 し、そこを共有フォルダーとします。帳票設計後に"プロジェクトの生成"を実行すると、M-Designer は、PC のディスクにプロジェクト・ファイルを保存すると同時に、プロジェクト・ファイ ルとフォント・ファイルを IFS に対して FTP 送信します。

また、帳票設計を始める時には、システム上の Mapping OPALE がスプールファイルを元に生成し て、IFS 上の/home/map400/mapping/に保存した pag ファイルを、PC に受信して M-Designer の 画面に表示します。その際、pag ファイルは、FTP 通信を使って PC 上の C:¥mapping¥に転送され ます。

この設定のメリットは、次の通りです。

- M-Designer 上への pag ファイルの読み込みや、ページ間の移動が高速です。
- pag ファイルを一旦 PC に取り込んでおけば、システムと接続しなくても帳票設計作業が行えます。

ただし、複数の PC で M-Designer を使用する場合には、次の点について注意が必要です。

- 同じプロジェクト・ファイルを、複数の PC で同時に編集することが無いように管理する必要が あります。
- IFS上のlstobj.txtファイルと、各PC上のlstobj.txtファイルが不整合を起こすと、フォーマット取り込み時にエラーになります。そのため、PC上のM-Designerでプロジェクトの生成を行う直前に、必ずlstobj.txtファイルのインポートを行う必要があります。
- 1台の M-Designer で pag ファイルの読み込みを行うと、IFS 上に生成済みの pag ファイルを全 て受信します。従って、複数の PC で pag ファイルの生成や読み込みを行う際には、タイミン グをずらして行う必要があります。



B. 共有フォルダーをファイル・サーバー上に作成し、IFS と FTP 通信する方式 A.の方式のメリットを生かした上で、注意点を解消するための方式です。

C. 共有フォルダーを IFS 上に持って直接書き込み、読み取りする方式 IFS 上の/home/map400/mapping/を共有フォルダーとして直接書き込み、読み取りすることによって、A.の方式の注意点が解消できます。ただし、次の点について注意が必要です。

- M-Designer 上で IFS 上の pag ファイルを読み込んだり、ページ間の移動を行ったりすることに なりますが、多くの場合、読み込みや表示の速度が非常に遅くなります。
- PC とシステムとネットワーク接続できていないと、帳票設計できません。

4-2. M-Designer の設定を行う

- FTP 通信を使用する場合には、M-Designer が使用する共有フォルダーとして、PC 上、若しくはファ イル・サーバー上に、"C:¥Mapping"というフォルダーを作成します。
 注) IFS 上の同名の/mapping/フォルダーと通信しますので、この名前は固定です。
 共有フォルダーを IFS 上に持つ場合には、IFS 上の/home や/map400 フォルダーに対して、編集可能 な権限を持つ共有設定を行います。
- Windows のアプリの中から "Mapping Suite" → "M-Designer" を選択して起動すると、次のように初 期画面が英語モードで表示されます。





3. 左上のホームボタン (空)を押して、次の画面を表示し、右下の "Preferences" ボタンをクリックしま す。

	•	
New	•	Open document
Dpen	+	
Save	Þ	
Save As	Þ	
Project Association	n 🕨	
Multiple generation	on	
import	•	
Export	•	
Close		
		🔀 Preferences 🛛 🛛 Exit

4. 日本語モードに切り替えるために、次の画面のように"Languages"欄の値を"Japanese"に変更し て "OK"ボタンを押します

eferences				×
General Servers Calculations				
Utilisation Simple DExpert			Language : English]
Automatic save	Interval (minutes):	1	English French	
— Lock Projects upon Opening	L		ooponese	
Create bak Files				
🗹 Select Object Before Moving				
🗹 Enable Script Editor				
☑ Show all component's errors				
V Force straight lines				
Temporary folder :				
C:¥M_Designer¥				
List of characters to be displayed in d	ouble width :			
	ок	Cancel	Apply	Help

5. 再起動することで設定変更が有効になるという内容のメッセージが次のように表示されます。"OK" ボタンを押して画面を閉じた後、M-Designer を再起動します。

注) その後は日本語モードで起動します。





6. 再起動すると、次のように日本語モードの画面が表示されます。左上のホームボタン verを押して、 次の画面を表示し、右下の"設定"ボタンをクリックします。

・ ・	************************************	ホーム(H) 編集(E) 表示(M)				Styl
クリップボード システムフォント 生成する フレビュー ウィンドウハ - - 最近使用したファイル: プロジロト - 最近使用したファイル: プロジロト - 日本 ウィンドウハ コンボーキント 可変要素 - - 最近使用したファイル: プロジロト - 日本 - - 日本 - 日本 - 日本 - 日本 - - - 日本	ウルプポード システムフォント 生成する フレビュー ウィンドウハ ・ 小ボー ・ 最近使用したファイル: ウェンドウト ウェンボー ウェンドウト ・ フボーネント 可変要素 ・ 局口に合い クリンプル したビー クリンプル ・ アメー Application M.Designer レディーシット したビー したビー <t< th=""><th>っ 切り取りの (目 複製の) コピー(Q ガナの) フォーマットのコピー</th><th>Agency FB ・ 12 ・ I B U</th><th>う プロジェクトの関連付け プロジェクトを生成する 第 オーバーレイのエクスポート 目 スクリプト(5)</th><th> データストリームの読み込み ジェXPS ウォーターマー マルチプレビュー プレビューの保存 </th><th>ク ウィンドウ(W)</th></t<>	っ 切り取りの (目 複製の) コピー(Q ガナの) フォーマットのコピー	Agency FB ・ 12 ・ I B U	う プロジェクトの関連付け プロジェクトを生成する 第 オーバーレイのエクスポート 目 スクリプト(5)	 データストリームの読み込み ジェXPS ウォーターマー マルチプレビュー プレビューの保存 	ク ウィンドウ(W)
- 新規(N): - 最近使用したファイル: プロジェブが コンポーネント 可変要素 - 時K(O): プロジェクト コンデートント Application M.Designer コンポーネント Version Opale 可変要素 ファイルフォーマット 10.0.0 @ 2018 MAPPING Suite - 270/4/2011	- 新規(N): - 最近使用したファイル: プロジェクト フ・ポーネント 可変要素 - 間((o): プロジェクト フポーネント 可変要素 フィールント マクトカン マクトカン クロジョント フィールント Version Opale フィールント クロジョント フィールント クロジョント フィールント Version Opale フィールント クロジョント フィールント クロジョント クロジョント フィールント クロジョント ション・・シント の変要素 クロジョント フィールント クロジョント ション・・シント クロジョント フィールント クロジョント クロジョント フィールント クロジョント クロジョント フィールント クロジョント フィールント クロジョント クロジョント フィールント クロジョント フィールント クロジョント クロジョント フィールント クロジョント クロジョント フィールント クロジョント クロジョント フィールント クロジョント フィールント クロジョント フィールント クロジョント フィールント クロジョント フィールント クロジョント フィールント クロジョント フィールント クロジョント フィールント クロジョント フィールント クロジョント フィールント クロジョント フィールント クロジョント フィールント クロジョント フィールント クロジョント フィールント クロジョント フィールント クロジョント フィールント クロジョント フィールント クロジョント クロジョント クロジョント クロジョント クロジョント クロジョント フィールント クロジョント クロショント クロショント クロショント クロショント クロショント クロショント クロショント シー クロショント のロショー クロショント のロショー のロショー のロショー クロショント のロショー の の の の の の の の の の の の の	クリップボード	システムフォント	生成する	プレビュー	ウィンドウ(N)
			新規(N): - 最近使用 プロジェクト コンポーネント 可変要素 間く(O): プロジェクト コンポーネント 可変要素 の変要素	引したファイル: Application M-Designer Version Opale ファイルフォーマット 10.0.0 PPING Suite - 22/04/2021	M designer	

- 7. 次の"設定"画面が表示されます。Mappingが生成するデータ形式を、XPS 形式のファイルを介さずに、直接"PCL5"や"ZEBRA"とする場合にのみ、"使用モード"を"上級者"に変更します。その場合は、"OK"ボタンをクリックした後、M-Designerを再起動した後、次の設定に進んでください。それ以外の場合には、"使用モード"は"標準"のままで"サーバー"のタブを選択します。
 - 注1) "標準"の場合、データ形式は"XPS"になります。
 - 注2) 初期状態では、"□水平・垂直線だけを使う"にチェックが入っています。罫線等の直線を引く 際に、斜め線を引く可能性がある場合には、このチェックを外します。

使用モード ●標準 ○上級者		言語: Japanese ∨
□ 自動保存する(<u>A</u>)	間隔 (分)(]): 1	
□ プロジェクトを開いたときにロックする		
□.bak ファイルを作成する		
☑ 移動する前にオブジェクトを選択する		
☑ スクリプトエディターを使用する		
☑全てのコンポーネントのエラーを表示する		
☑ 水平・垂直線だけを使う		
一時フォルダー		
C:¥M_Designer¥		
借倍角で表示される文字の一覧:		-



<IFS と FTP 接続する方式を使用する場合の設定>

8. 表示された画面で、"FTP"にチェックを入れた後、共有フォルダー横の ボタンをクリックします。 共有フォルダーを指定する画面上で、"1"で用意した C:¥Mapping フォルダーを指定して、"OK"ボタ ンをクリックします。ファイル・サーバー上に共有フォルダーを設ける場合には、ファイル・サーバ ー上の C:¥Mapping フォルダーを指定します。

全般 サーバー 演算用設定	
ーサーバーの設定	
9-N-OBXAL	
サーバー名:	
→ 追加 削除 保存	
ログイン名: ^{共有ノオルター} X	
共有フォルダー:	
1 I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	
C:¥Mapping	
> Intel	
IP100_75	
qi 🖌 🖌	
MapDraw	
> Mapping	
Mapping Accounts	
Mapping_Accounts	
mapping_rapali	

- 9. 次の値を入力します。
 - i) "共有フォルダー"の"C:¥Mapping"の後に"¥"を追加します。
 - ii) "サーバーのパス"に、Mapping OPALE が稼働するシステムの IFS 上の mapping フォルダーを指定します。(デフォルトでは、"/home/map400/mapping/"です。)
 - iii) "IP アドレスまたは名前"には、システムの IP アドレスかホスト名を指定します。
 - iv) "ログイン名", "パスワード"は、システムにログインする時に使用するユーザーID と、そのパスワ ードを指定します。



- 10. 以上を入力したら、この設定に対する任意の名前を決めて"サーバー名"に指定し、"追加"ボタンをクリックして設定を保存します。
 - 注1) "追加ボタン"をクリックすると、設定が全て消えたような画面になりますが、サーバー名の右横 にあるVボタンをクリックすると、入力したサーバー名を選択できます。
 - 注2) このようにすれば、複数のサーバーに対する設定を作って、M-Designer を使用する時にサーバー用の設定を選択することができます。

注3) 共有フォルダーを IFS 上に持って直接書き込み、読み取りする方式の場合には、不要です。

設定				×
全般 サーバー 演算用設定				
サーバーの設定				
+- r				
	追加	間腔	保友	
	1977H	1104	NK 11	
IP アドレスまたは名前、				
10.61.28.85	✓ FIP			
ログイン名:	共有フォルダー:			
mapping	C:¥Mapping¥			
パスワード:	サーバーのパス:			_
•••••	/home/map4	00/mapping/		
□ Istobj.txt のローカルコピーを保存する		接続の試行回数:		1
	1° + 3	問(吾(ma))		
▶ 休存するときに FTP を使う(プロジェクトを)	16-20	ТШИН (IIIS).		000
			1	
FIP 按标		stobj.txt のインホート		
	OK	キャンセル	適用(A)	ヘルプ



- "FTP 接続テスト"ボタンをクリックして、IFS への FTP 接続の確認を行ってから、"lstobj.txt のイン ポート"ボタンをクリックしてインポートを行います。完了したら、"OK"ボタンをクリックして"設定" 画面を閉じます。
 - i) 1回目は、FTP 接続の許可を確認する Windows の画面が表示されますので、"OK"します。
 - ii) もし、"ファイルが無い"や"書き込み権限が無い"というメッセージが表示されて、接続テストが失敗だった場合には、一旦、M-Designer を終了した後再度起動して、接続テストしてください。
 - iii)それでも失敗だった場合には、PCを一旦再起動し、初めに M-Designer を起動してから接続テストしてください。
 - iv) この操作によって、共有フォルダー(C:¥mapping)の下に "docpc" や "lgobitmap" という、PC 側に も必要な、IFS 上のフォルダーと同じ名前のフォルダーが、¥Mapping フォルダーの下に自動的に 作成されます。
 - v) 設計済みのプロジェクト・ファイルが IFS 上にある場合は、"/home/map400/mapping/docpc/"の 下にあるプロジェクト・ファイルを、共有フォルダー内の C:¥Mapping¥docpc フォルダーにコピー してください。
 - vi) M-Designer を起動した時には、"FTP 接続テスト"と "lstobj.txt のインポート"は、必ずセットで 実行するよう、習慣付けてください。また、複数の PC で帳票設計を行っている場合には、プロジ ェクトの生成の直前に、"lstobj.txt のインポート"を必ず行うようにしてください。

(定								
全般	サーバー	演算用設定						
サ-	バーの設定							
	サーバー名:							
	V7R4FTP		\sim	追力	П	削除	保存	
	IP アドレスまた	は名前:						
	10.5.155.2			FTP		□パッシブ FTP	し セキュア F	TP
	ログイン名:			共有フォル	ダー:			
	mapping			C:¥Mapp	aing¥			
	パスワード:			サーバーの	(ス:			
		••		/home/o	pale400	14/mapping/		
	Istobj.txt のロ	ーカルコピーを保	存する		接	続の試行回数:		1
	保存するときに	FTP を使ってブ	ロジェクトをコ	ピーする	F	隔 (ms):		1000
				-			· · · · · ·	
			FTP 接続	776	Istol	oj.txt のインポート	1	
						-		
	FTP:操作は	正常に完了しま	た。					
				OK		キャンセル	適用(A)	ヘルプ



<IFS 上の/home/map400/mapping/を共有フォルダーとする場合の設定>

12. "サーバー"の画面の"共有フォルダー"に、次の画面例のように"¥¥システムの IP アドレス

¥home¥map400¥mapping¥"、若しくは"Z:¥home¥map400¥mapping¥"を指定します。この設定に対して任意の"サーバー名"を指定し、"追加"ボタンを押して登録します。他の欄は空白のままです。

サーバー名: V7R4DIRECT	~	追加	削除	保存	
IP アドレスまたは名前:		D	□ <i>เ</i> ร็พ≥ ₂ -7 ETD		
10.5.153.2	±5	r フォ॥ぷー・			
mapping	¥¥10	.5.153.2¥ho	me¥opale40014¥ma	pping¥	2
パスワード:	サーバ	ーのパス:			
•••••					
□ Istobj.txt のローカルコピーを保存す	õ	ł	毎続の試行回数:		1
☑ 保存するときに FTP を使ってプロジ:	エクトをコピーする	ħ	罰隔 (ms):	100	0
F	TP 接続テスト	lsto	bj.txt のインポート		

- 13. 演算用設定のタブを選択します。次のような画面が表示されます。"桁区切り記号"欄にカンマ","を入 力して "OK" ボタンを押して画面を閉じます。
 - 注) M-Designer の四則演算機能を使用すると、金額などの数値に3桁区切りの記号を追加することが できます。日本や米国は、3桁区切りの記号は","、小数点は"."ですが、ヨーロッパでは逆になりま す。そのため日本仕様としては、この画面で3桁区切りの記号と小数点を指定します。

設定		×
全般 サーバー 演算用設定		
桁区切り記号:		
小数点の記号:		
	OK キャンセル 適用(A) ヘル	プ



14. 新規の帳票設計を行うには、左上のホームボタンを押して、"新規"→"プロジェクト"を選択します。



15. 画面上部にある"表示"タブを選択して、"データビュー"と"プロパティ"にチェックを入れます。下端にある"単位"は、"10/mm"(1/10mm という意味)か、"mm"に変更することをお勧めします。帳票設計時に、細かい寸法調整を行うのに便利です。



以上で、M-Designerの設定は完了です。



第2章 M-Designer の基本を知る

この章では、M-Designerの画面の使い方や、M-Designerを使用するための基礎を中心に説明します。

2.1 M-Designer 画面を使用する

画面の分割

"表示"タブを選択して、"データビュー"と"プロパティ"の他に"条件"にもチェックを入れると、次の ように画面は3分割されます。それぞれの境界にある縦線の位置を左右に移動することによって、各画 面の表示面積を調整できます。ただし、"条件"は、中央の"データビュー"画面の下にあるタブで表示 を切り替えられますので、左端の設計画面を広く取るために、右側の"条件"画面は"×"をクリックし て閉じて使用することをお勧めします。



② 画面の拡大・縮小表示

画面右下にあるズーム機能を使って、各画面を拡大・縮小表示できます。ただし、100%よりも大きく 拡大することはできません。画面右下にあるズーム用ボタンは、次のような機能になります。

🤳 : 全体を表示します。

🗧:画面横幅一杯に表示します。

 ・範囲指定した箇所を拡大表示します。(このボタンをクリックした後、ポインターで、表示したい
 ・範囲を指定します。)

^{17%}▼: パーセントで倍率を指定します。(指定できるのは、12%, 25%, 50%, 67%, 100%)

注1) 左右どちらの画面を拡大・縮小するかを指定するために、画面を一旦クリックする必要がありま す。



注2) 下図は、左画面に対して、

「ボタンを適用した場合の例ですが、左右画面の境界の位置が左寄りになっていると、横幅の一部が欠けて表示される場合があります。



③ "DrawF" 画面と "MapF" 画面

画面右下が^{Draw F}この表示になっている場合、左画面では、固定文字や固定罫線といった、事前印刷 に相当する部分(オーバーレイとも言います)を設計する状態になっています。("F"は、前面すなわ ち "Front" を表しています。)

その右にある "MapF" をクリックして、 MapF この表示になっている場合は、左画面は、スプールデー タの中のデータの配置を設計する状態になっています。その時には、 "DrawF" 画面で設計したオーバー レイは、グレー表示となって編集できません。表示されるメニューも "DrawF" とは異なります。





④ 座標と行・桁

マウスポインターが左画面にある時には、画面下左にある "X" の値はポインターの位置の X 座標、"Y" は Y 座標の値を示します。数値の単位は、"単位" で指定したものになります。また、原点は用紙左上隅 になり、右方向に X 軸、下方向に Y 軸となります。

"DrawF" 画面で、例えば長方形を指定した場合、"X" と "Y" は長方形の左上の角の X 座標、Y 座標を表 します。そして、"W" と "H" は、長方形の横と縦の長さを表します。

これらの値は、直接入力することもできますので、位置やサイズを厳密に指定した場合には、直接数値 を入力します。

- 注) 間違った数値を入力した場合には、画面左上にある "元に戻す" ボタン S をクリックします。元の 値に戻りますので、その後、指定し直しすることをお勧めします。
- 例) 長方形の X 座標、Y 座標、横(W)、縦(H)

		Fand	年月日
 査 年 月 下記のとおり御見積 件名	 日付第 号ご照会の件 申し上げます。	本 社〒136-0072 東京都 電話 宮家本部〒134-0085 東京都 電話	二葉 底大 泉4 丁目 88 高地 寺 03 (3888) 3999 (代) 高額 底面 菜面 57 日 9 表 9 寺 03 (5999) 8888 (代)
御見積金額 ¥			
御支払条件	荷造運賃	·····································	担当
約期 No S			金額
<	単位 10/mm ▼ X 1241.2 ÷ Y 58	89.28 ≑ W 774.70 ≑ H 281.94 ≑	長方形



マウスポインターが右画面にある時には、画面下左にある"X"の値はスプールデータの中のポインター の位置の桁、"Y" は行の値を示します。範囲を指定した場合には、"W" がその範囲の桁数、"H" が行数 を表します。

🕞 🖬 • • • • 🝙 •	– 0 ×
ホーム(H) 編集(E) 表示(V) Mapping	Style * 😡
d baytopp_cover_xpso.mp ×	データビュー - c:\mapping\demo1.pag - (1/6) キャ
^ ^	
御見積書 <u>No ESTAGE</u>	別 途 打 合 せ
<u>会社名</u> 国家所名 世行器 世行器 世行器	御承認後30日
度 1000 年 11 月 100日 (中部 100 metal) 号ご照会の件 本 芯干100-000 ま F 88 25 5 5 5 17 8 19 49 4 下記のとおり御見積申し上げます。 名本 4 5 10 400 5 F 88 25 5 18 49 4 4 名 17 - 20 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	0 入門書
御見積金額 ¥ 金額 EAKCL	30 1 初級コース
は世代教は カムダマーハーコード	2 中級コース
御支払条件 医基金件 荷造運貨 體速運動 深深 修理加强	3 上級コース
約期 的第三人称单数 有効期間 種類 第二人 化乙酸乙酸 化乙酸乙酸乙酸乙酸乙酸乙酸乙酸乙酸乙酸乙酸乙酸乙酸乙酸乙酸乙酸乙酸	4 技術者向け専門書
No ジャンル 金額 663 ジャンルをパローなし 金額のエなし	
	<
	データビュー - c\mapping\demo1.pag - (1/6) プロパティ
【< 1/6 ▶ ▶】 単位 10/mm ▼ X 11 ♀ Y 36 ⇒ W 20 ⇒ H 1 ⇒	Draw F Map F Draw B Map B 🗏 🗄 🤗 24% 🗸 💬 🕀

例) スプールデータの 36 行目の 11 桁目から 20 桁の範囲を指定した場合

⑤ 位置とサイズの調整

左画面に指定した図形やゾーン、グループの位置やサイズを調整するには、次の点にご注意ください。

 移動やサイズの調整を行う対象とするものをクリックして、周囲の4隅に●、上下左右中央に■ が表示された状態になっていることを確認してから、調整します。

・ ホーム(H) 補集(F) 表示(V) Mapping	22.400
	世375 定
貼り付けの ダフォーマットのコピー 単言 言 二 ▲フォントの色・ G 可変グループ	四角
クリップポード システムフォント グループ ゾーン	
< QRCODETEST.mp* BAYTOPD1.mp* ×	Þ
	^
会社名	
出来にない。	
てわのしたり知日往は	
ト記のとわり御兄惧中	
	v
C Note that the second seco	
イ 1 / 6 トリ 単位 10/mm - X 295.48 葉 Y 433.49 葉 W 77.04 葉 H 40.64 葉 YYYY	

• 移動する場合には、マウスポインターの形がこのような形のになっていることを確認します。



- 文字や数字を左右方向にのみ移動するには、周囲の囲み線の内、左端縦線中央にある■を左右に 移動します(左寄せや中央揃えの場合)。その時、マウスポインターはこのような形 (本)になり ます。
- あるいは、キーボードの左右のカーソルキーを使用します。
- ・ 文字や数字を上下方向にのみ移動するには、周囲の囲み線の内、上端または下端横線中央にある
 ■を上下に移動します。その時、マウスポインターはこのような形
 ・になります。

 あるいは、キーボードの上下のカーソルキーを使用します。
- ⑥ スプールデータのページを移動する

右画面に表示されたスプールデータのページを移動するには、画面左下にある◀や▶ボタンをクリック します。直接ページの値を入力することも可能です。

I< < 1/6 ► ►I

⑦ プレビュー

設計にスプールデータを適用した結果を、画面上で表示(プレビュー)することができます。プレビュー には、1種類のシーケンスにのみ適用する"プレビュー"と、複数種類のシーケンスがページによって正 しく切り替わるかを確認するための、"マルチプレビュー"の2種類があります。

PCの画面の持つ解像度と、M-Designerの解像度の関係から、正確な位置を確認するには倍率 を "100%" としてから確認するようにしてください。

"プレビュー"には "ホーム" タブ画面の "プレビュー" ボタンを押します。(ショートカットは、"Ctrl" キ ーと "W" キーを一緒に押します。)

プレビュー状態の時に、画面右側のデータビュー画面では、表示された値は黄緑色に変化します。これ によって、必要な値が全て表示される設計になっているかを見極めることができます。





"マルチプレビュー"ボタンは"プレビュー"ボタンの右横にあります。これは、次のサンプルのように、1 ページ目が鑑(シーケンス 00010)、2 ページ目以降が明細(シーケンス 00020)といった、1 つのスプール データに対して複数の設計を、ページによる切り替え条件を設定して適用する場合に使用します。スプ ールデータのページをめくって、設計が切り替わるかを確認します。



2.2 M-Designer の基礎を理解する

M-Designer で作成するファイルを、"プロジェクト"と読んでいます。プロジェクトとは、オーバーレイとスプ ールデータに対する配置(データのレイアウト、データのマッピングとも呼びます)、そしてそれらをまとめて 一組にしたものを指します。

プロジェクトは、次のように拡張子が異なる、同じ名前の3つのファイルから構成されています。

- オーバーレイの情報を持つ ".mpw" 形式のファイル
- データレイアウトの情報を持つ ".mpi" 形式のファイル
- ".mpw"と ".mpi" ファイルを関連付けるための ".mpp" 形式のファイル。

プロジェクトは、システム上の Mapping OPALE に取り込まれて使用されますが、取り込まれた状態のもの を "フォーマット" と呼びます。フォーマット名は、システム上で Mapping OPALE が PDF ファイルを生成し たり、PCL 形式等の印刷データを生成したりするコマンドのパラメーターとなる重要な値です。

1 つスプールファイルに対して、複数の帳票フォーマット(プロジェクト)を適用する必要がある場合がありま す。例えば、請求書が次のような構成になっているとします。

- •1ページ目は、宛先の住所や会社名、送り主の住所や会社名、合計金額が記載された「鑑」のページ
- •2ページ目以降は、請求明細のみが記載された「明細」のページ

このような場合には、鑑用と明細用の2種類のプロジェクト・ファイルを作成することになります。その場合。フォーマット名は共通とし、シーケンス番号を、鑑のページには "00010"、明細のページには "00020" と割り当て区別します。

注) シーケンス番号を 00010 から 10 刻みに指定しているのは、後で 00010 と 00020 の間にシーケンスを追加 する必要が出てきた場合に、既存のシーケンス番号に影響しないようにするためです。



そして、シーケンス "00010" のフォーマットには、スプールファイルの1ページ目のみに適用される条件、"00020" には2ページ目以降に適用される条件を設定します。なお、条件を設定しない場合には、スプールの各ページに対して、シーケンスの番号順にフォーマットが適用されます。

M-Designer の "マルチプレビュー" 機能を使って、設計が正しく機能するかを確認した後、Mapping OPALE にフォーマットとして取り込みます。その後、Mapping OPALE の PDF ファイル生成コマンドを実行すると、 1ページ目が鑑(00010)、2ページ目以降には明細(00020)の設計が適用された、1つの PDF ファイルが生成さ れます。

2.3 帳票設計作業の流れを理解する

ここでは、事前印刷された連続用紙の帳票をカット紙に移行するための帳票作業を例として、帳票設計の作業 の流れをご説明します。

- M-Designer の右側の画面で、スプールデータを参照できるようにするために、Mapping OPALE メニ ューの "Mapping" → "スプールの操作"を実行します。対象となるスプールファイルに対して "P=PC への送信"を実行して pag ファイルを生成します。
 - 注) pag ファイルは、スプールデータの文字コードを OS/400 用の EBCDIC から、Windows 用のユニ コードに変換したものです。pag という独自の拡張子を持ちますが、実態はテキスト・ファイルに 近いものです。
- 2. M-Designer を起動して、"新規" →プロジェクト"を実行します。
- 3. プロパティ画面で、ページサイズや印刷の向き、フォーマット名、シーケンス番号を指定します。
- 4. 帳票をスキャンして、PDF形式やイメージ形式のファイルに保管します。
- 5. 帳票イメージを画面に表示し、キーボードの Shift キー+Windows キー+S キーを押して、必要な部分の画面コピーをクリップボードに取得します。
- 6. Windows のペイント等のツールを使って、クリップボードにある画面コピーを貼り付け、jpg, bmp, 若しくは tif 形式のイメージファイルとして保存します。
- 7. M-Designer の "DrawF" 画面に、"6"で保存したイメージファイルを貼り付けて、設計のひな型とします。

注) オーバーレイを先に設計する場合には、予めオーバーレイを Excel 等の他のソフトウェアで作成す るか、既存のオーバーレイのファイルに対して、Windows 標準の"Microsoft XPS Document Writer" を使用して、XPS 形式のファイルに保存します。M-Designer の"インポート"→"リソース"を実行し て、保存した XPS ファイルをオーバーレイとして読み込むことが可能です。

- 8. "データストリームの読み込み" ボタンをクリックして、"1"で保存した pag ファイルを右画面に表示 します。
- 9. "MapF" 画面に切り替えて、"DrawF" 画面の帳票イメージのひな型に合わせるようにスプールデータ のレイアウトを設計します。

注) 複数の"ゾーン"を使って、所謂フィールド単位でスプール内のデータの配置を決めることができま すが、可能な限り、"グループ"と"ゾーン"の組み合わせによって、繰り返し行を使った設計を活用す ることをお勧めします。設計作業の工数、データの配置位置の精度、設計の保守の観点からメリット が多いからです。



- 10. "DrawF" 画面に切り替え、帳票イメージのひな型に合わせて、固定文字や罫線(オーバーレイ)を書き 込みます。
- 11. "7"で貼り付けたイメージファイルを削除します。
- 12. "プロジェクトを生成する"ボタンを使って、システムの IFS(home/map400/mapping/docpc) にプロジェクト・ファイルとフォント・ファイルを保存します。
- 13. Mapping OPALE メニューの "Mapping" → "Mapping フォーマットの取り込み" を行います。



第3章 M-Designer を使って帳票設計する

この章では、"2.3 帳票設計の流れ" に則って行う、帳票設計の実際の手順を具体的にご説明します。 なお、設計作業には、マウスは必須です。

3.1 pag ファイルを作成する

 システム上の Mapping OPALE のメニュー"Mapping"→ "スプールの操作"を実行します。表示された 画面で、OUTQ 名やライブラリ名等を指定して、対象のスプールを検索します。



 対象のスプールに"P"を指定して実行すると、"PCへのスプール転送"という画面が表示されます。帳 票設計の参照のために必要なページの範囲を、開始ページ、終了ページ欄で指定します。次に、出力 ファイル名(スプール名.pag というファイル名がデフォルトです。ファイル名は任意です)、コードペ ージを指定して実行します。(日本語スプールの場合、コードページには"290"か"1027"を指定して半 角カナ文字か半角英小文字を指定します。)

実行すると出力ファイルは、システムの IFS 上 /home/map400/mapping/ に生成されます。





3.2. 新規プロジェクトを定義する

M-Designer を起動します。左上のホームボタン
 、次に画面右下の "設定" ボタンをクリックして、"サーバー" タブ画面を表示します。FTP 接続の場合は、"FTP 接続テスト" と "lstobj.txt のインポート" を行います。

一 一 ・ の で 通 ・ で 一 ・ ・ 、 ・ ・ 、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	— 0 sh	× /le • @
 なり取りの 語 復製の ユビー(Q オノーマットのコピー 	12 I B U うプロジェクトの関連付け データストリームの読み込み は xps ウォーターマーク 設定 メ ウィンドウ(m)	
クリップボード - 新規(N): プロジェクト コンボーネント 可変要素 - 聞く(0): プロジェクト コンボーネント		
可交要素	FTP 接換ラスト Istobj.tt のインボート FTP:操作は正常に完了しました。 OK クK キャンセル (周用(A)	

ホームボタン ● をクリックして、"新規"→"プロジェクト"を指定します。右画面がデータビューを表示している場合は、F5 キーを押すか、"プロパティ"を選択します。





- 3. 画面右側のプロパティの各項目に対して、それぞれの値を設定します。
 - フォーマット:帳票固有の名前。英数大文字で最大10文字です。
 - シーケンス:1つのスプールファイルに対して適用するフォーマットが1種類の場合は"00010"、 複数ある場合には、"00020"・・・と10刻みに連番を振ります。
 - モード: 帳票の入力データがスプールファイルの場合は "SPLF"、XML 形式の場合は "XML" を 指定します。
 - 片面印刷の向き:縦長の場合は"縦"、横長の場合は"横"を指定します。
 - ページサイズ: "A4"、 "A3" 等の規格サイズが選択できる他、"カスタマイズ"を指定すると、縦横 任意のサイズを指定できます。
 - 片面/両面: "両面"を指定すると、1つのフォーマット、表用と裏用に別の帳票設計が可能になります。そのため、オーバーレイ設計用には、"DrawF"と "DrawB"の2画面、スプールファイルのレイアウト設計用には、"MapF"と "MapB"の2画面が現れます。("B"は Back の意味)注)この設計だけで、プリンターが自動的に両面印刷するわけではありません。併せて、それぞれを奇数ページと偶数ページに適用するための条件設定が必要です。
 - X 余白、Y 余白: "X 余白"は左右、"Y 余白"は上下の余白の値を指します。左側の画面では破線 で示されています。余白部分は印刷されないということはありませんが、"0"以外の任意の値を 指定してください。
 - 改ページ:通常はチェックを入れたままとします。しかし、例えば、1ページの上半分と下半分に それぞれ別のシーケンス番号を割り当てて、2つの帳票設計を適用するには、下半分の設計のこ のチェックを外します。
 - SO/SI:スプールファイルの属性("8" で表示)の中に、"DBCS SO/SI スペース" があります。"*YES" であれば、SO/SI をブランク文字として扱います。この属性の値と同じ値を指定することによって、文字の位置ずれを防ぎます。

		– 0 ×
★-ム(H) 編集(E) 表示(M) 図形		Style 👻 🛞
 「クリッド マ デーダビュー オブジェクトツリー 上部ルーラー マ ブロ/ティ(n) マ タブパー(n) 定 左ルーラー 「条件 表示が表示 		
4 × x	プロパティ	# ×
<u>^</u>	= パラメーター	
	フォーマット	DEFAUT
	シーケンス	00010
	<i>संभा</i>	
	4440	
	共有フォルダー	C:\Mapping\
	£−×	SPLF
	🗆 印刷の向き	
	片面印刷の向き	ñE
	両面印刷の向き	ñE
	□ プリンター設定	
	ページサイズ	A4 (21,0 x 29,7 cm)
	片面/页面	片面/両面 (長辺)
	X 余白	66.04 10/mm
	Y 余白	66.04 10/mm
	給紙トレイ	0
	排紙トレイ	0
	部数	0
	<i>はページ</i>	
	□ スプール	
	SO/S/	YES
	7#~?***	
< >	データビュー プロパティ	
【< 1/-1 ▶ ▶】 単位 10/mm ▼ X 1604.4 ‡ Y 3020.9 ‡ W 0.84 ‡ H 0.84 葉	Draw F Map F	Draw B Map B 🗐 🗃 🔍 14% - 🗩 🕀 🕀



3.3 帳票イメージを貼り付けて、設計のひな型とする

- 1. 既存帳票のスキャンイメージを PC の画面に表示したら、キーボードの Shift キー、Windows キーと S キーを同時に押して、必要な部分の画面コピーをクリップボードに貼り付けます。
 - 注) スキャンする帳票は、データの配置や文字の大きさを確認できるよう、スプールファイルを印刷 したものを使用します。
- 2. Windows 付属の "ペイント" 等のツールを使って、クリップボードに貼り付けた画面コピー を、"jpg", "bmp", または "tif" 形式のイメージファイルとして保存します。
 - 注)ファイル名、保存先のフォルダー名には、必ず半角英数文字を使用してください。日本語名が入ったフォルダーの下に保存すると、M-Designer から読み取れず、エラーになります。
 - 例) ペイントを使用して帳票イメージを切り出し、jpg 形式のイメージファイルとして保存する



3. M-Designer において、"DrawF" 画面であることを確認したら、"図形"タブのメニュー "イメージ" を クリックして、マウスの左ボタンをクリックしたまま、左画面の用紙左上角から右下角までを範囲指 定します。次のような画面が表示されるので、"2" で保存したイメージファイルを指定します。





A4 サイズで帳票設計する場合には、貼り付けたイメージに対して、画面下の"X", "Y", "W", "H"、若しくは右画面の"X", "Y", "幅", "高さ"に、それぞれ"0", "0", "2100", "2970"(単位が 1/10mm の場合)を入力すると、A4 サイズの帳票のひな型として使用することができます。

					- 0 ×
ホーム(H) 編集(E) 表示(V) 図形					Style 👻 🥑
 √ 切り取り() 目 複製の 12 · I I BD/ht/rp ブフィーマットのコピー 	U A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	 → 選択 □ 正方形 	 ・ 荷円 ・ ○ 円 ・ ▲ 塗りつぶし ■ペン・ 	・ コンボーネント	
クリップボード システムフォント	挿入	形	スタイル	生成する	
4 · ×	<u>רם</u> לם/	(ティ			ά×
	<u> </u>	インターフェイス			
C 194		放		イメージ	
	7 ²	文書の中の位置			
	×			0 10/mm	
141 2015 開西東高 小桃市市 夏夏市区(東京) 1634 431 1.5 年11月~1日年3月金 88533 384				0 10/mm	
10/25 407 年夏 編 15/0010 20 14 2005 年5 6 前日第二 文書祭務第 11/2017 年5 6 前日第二 文書祭務第				2100.58 10/mm	
	ai a a a a a a a a a a a a a a a a a a	ł		2970.10	
(1038-01) 世界 単星 14 2018 開発支送 再回雇之 化在金玉比 (1039-47) 50010 32	04 94	x		0	
34 2010 開西支店 年晨末前 交通便电局屋 4044 405 74 2016 開西支店 用田和田 校正全主社		塗りつぶし			
40-11 40-2015 第四支応 第回支応 第回支応	51 51	ブ		なし	
44 2013 開西文化 矢田市市人 在北金支払 40 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				#FFFFFF	
10-11-10-20月 単位 12-2012 営業費 大塚原美商 人社医金 10-15-10-2 営業月最与手 4000000 高い	··· /	デーション			
(∧∿			
1011日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日		<u></u>		0	
	8			#000000	
64 2010 BO C BR 665 410 C BR C S BR 7 8 9 8 - 41 4 - 41 - 41 - 41 - 41 - 41 - 41	51	プ		なし	
	2.6a. 925a				
44 2010 96単規型 メスタリアJ型の 中非常変更し 2000000 (42:2月) - 2000000 (42) 44 2010 1 日本	939				
1007 00 44 2010 年末NK(余 学業幣 単K(余水)、 4504 43 平東 単 150000 43	452				
600 47 0 4 20 4 0 4 20 4 2 4 2 4 2 4 2 4 2 4 2	1.40 1.40				
44 2015 開西文化 鼻本電量 化五金文化 50010 約 6027 02 141日 NTTファイアンス株	800				
4094 (1 2014) まで、 会社の主要の (1 2016) 第 10 (1 2014) まで、 定時を用意する日本の 10 (1 2014) まで、 定時の主要の 10 (1 2014) 第	84	引た面表の高さ			
		Cordentionerc.			
<	>	タビュー プロパティ			
【 ◀ 1/-1 ▶ ▶ 単位 10/mm × X 0 ÷ Y 0 ÷ W 2100.5 ÷ H 25	70.1 : イメージ		Draw F Map F	raw B Map B	R Q 14%

3.4 スプールファイルのデータをマッピングする

 画面を "MapF"、更に "データビュー" 画面に切り替えてから、"ホーム" タブのメニュー、"データスト リームの読み込み" ボタンをクリックすると、次のような画面が表示されます。
 注) FTP 接続の場合は、システム側の IFS 上の /home/map400/mapping/ フォルダーにある全ての

pag ファイルが、共有フォルダーに移動します。

👝 🕞 🗝 🖉 🔻						– 0 ×
・ ホーム(H) 編集(E) 表示(V)	Mapping					Style 👻 🕢
☆ 切り取りの 田 複製回 助り付けの マリーマットのコピー	Agency FB v 12 v I B U E E E E A フォントの色 v 7	シブロジェクトの関連付け ホーバーレイのエクスポート ロジェクトを生成する コスクリプト(S)	データストリーム フレビュー ロマルチプレビューの保	▲の読み込み 🎲 XP - 字	^{IS ウォーターマーク} ウィンドウ№	v
クリッフホード					X YUN	•)
4 / * x	$\leftarrow \rightarrow \checkmark \uparrow \square \rightarrow PC \rightarrow OS(C_1) \rightarrow Ma$	pping	√ Ö	Mappingの検索		μ×
	整理 マ 新しいフォルダー				≣ • □ 0 3	0
	ノートブック	▲ 名前	更新日時	種類	サイズ ^	
C	ピクチャ	MOSYSPREPAG	2020/12/21 19:00	PAG ファイル	29 KB	
64 235 9 R R ± 0 6034 435 64 205 9 R R ± 0		JUC621RPAG	2020/12/03 12:23	PAG ファイル	13 KB	
6015 405 平見 優 64 2010 末長 6010 401 注責 筆足		TLU120RPAG	2020/11/13 18:40	PAG ファイル	268 KB	
04 2019 社員任業 6027 09日 東田 2 643 2019 末正金	JUN JUN I	GC0150RPAG	2020/10/30 18:34	PAG ファイル	2 KB	
603 695 社員 新聞 14 2029 第五支法 6039 695	→ 9590-F	SASC_CARD.PAG	2020/10/29 12:06	PAG ファイル	1 KB	
44 2016 周首王は 6010 005 84 2015 周首王は 64 2015 周首王は	デスクトップ	DEMO1.PAG	2020/10/19 15:52	PAG ファイル	45 KB	
34 2015 M N 2 0 4042 405	F#1X2F	SPLITSPOOL.PAG	2020/10/16 14:13	PAG ファイル	18 KB	
6013 005 005 000 000 000 000 000 000 000 00	■ ピクチャ	HERPOBORPAG	2020/10/15 19:48	PAG ファイル	26 KB	
24 2015 計算費 4045.005 定量長数5	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	PU002PA.PAG	2020/10/15 19:36	PAG ファイル	14 KB	
C 4045 405 2 11 4	E1-ジック	IUUB02R001.PAG	2020/10/15 19:31	PAG ファイル	17 KB	
	US (C)	IMP171RPPAG	2020/10/15 19:26	PAG ファイル	234 KB	
640 00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		SE1680RPAG	2020/10/15 19:07	PAG ファイル	5,693 KB 🗸	
4005 418 44 2018 第四支日 4006 40 44 2018 第四支日 44 2018 第四支日	ファイル名(N): MOSYSPE	T.PAG		Spool (*.pag)	~	
647 415 642 2015 竹道田金 642 2015 竹道田立 64 2015 竹道山口山 64 2015				開((O)	キャンセル	
04 200 KR&L 6091 07 7 R W	k					
4003-02 04203 0508-03 04203 0508-03 04213 04213 0421-03	2度素素 50348 (100140 10 16 16 18 2度素素 25248 (100140 25248 25248 55210 (001300 1001 1001 1001 1001 1001 1001 1001 1001 1001 1001 1001 1001 100					
C 4000 10000						~
4						> *
・ 1/1 トト 単位 10/mm ×			Danue			
			Draw F	Map P Draw B	Map D 🖂 🖂 🤫 14% * 🚺	J



2. 3.1-2 で生成した pag ファイルを指定して、"開く"をクリックすると、次のように右画面にスプールデ ータが表示されます。参照しやすいように表示を、拡大、縮小します。

- (<u>)</u>				– 🗆 ×
ホーム(H) 編集(E) 表示(M) Mappi	ping			Style - 😥
はりか取りの 目 複製の 動り付けの ダフォーマットのコピー クリップボード	ng FB ・ 12 ・ I B U ■ ■ <u>A</u> フォントの色 - システムフォント	プロジェクトの間達付け プロジェクトを生成する プロジェクトを生成する マカリプトの 生成する	テータストリームの読み込み ジ XPS ウォーターマー スレビュー スレビュー スレビューの保存 プレビュー	ウ ウィンドウ(W) ウィンドウ(M)
4 / • ×		データビュー - C:\Mapp	ping\MQSYSPRT.PAG - (1/2)	⇒ ×
			A A	■ 2012/04/01 → A 2401550 10623 10633 107 107 107 107 107 107 107 107
【 【 】 1/2 ▶ ▶ 単位 10/mm ▼ X 10	Y 10 C W 1 C H 1 C		Draw F Map F Draw B Map B	B 9 13% - CUV (+)

 この帳票では、明細行はスプールデータのレイアウトのまま文字を表示すれば良いので、"グループ" と"ゾーン"を組み合わせた、繰り返し行に適した設計を行います。 グループは、その中にあるゾーンを、スプールデータの何行目から何行目まで繰り返して実行するか を指定するものです。ゾーンはグループで指定した範囲の各行に対して、何桁目から何桁目のデータ を、どのように(文字かバーコードか、フォントの種類やサイズ)表示するかを指定するものです。

初めにグループを定義します。右画面に表示したスプールファイルの内、指定したい範囲をマウスで 指定して、左画面にドラッグ&ドロップするか、"Mapping" タブのメニューにある "G 固定グループ" ボタンをクリックして、左画面の配置したい場所に、適当な大きさの範囲をマウスで指定します。そ の結果、次のように左画面に赤色の枠が表示されます。

📻 🔚 - 🕫 (m) 🕫			– a ×
★-ム(H) 編集(E) 表示(V) Mapping			Style - 🕡
☆ 切り取り(1) 田 複製(2) ▼ 12 ▼ I B		▶ 違択 ホテキストポックス きコンポーネントの表示	
		/線 № □」 □ □ 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
クルップボード システムフォント	は 可愛 ワループ パーン	□ 四月75 <u>■</u> 977 挿入	
		プロパティ	лх
	•	- 夕前	
	i i i i i i i i i i i i i i i i i i i	□	04.2019 84
C 10/07/16 1 1		□ 文書の中の位置	00 2010 (M
		X	445.34 10/mm
		Ŷ	902.54 10/mm
1011日本市町市金 平泉道 常葉道田市市市 1011日東市 101日東 101日 10		編	423.33 10/mm
1.1 2.2 R E & THIS REAL 2200 22016		痛さ	423.33 10/mm
0035 (07.4 BH 9015 2023)04 14 301 F 313 BH 82 KEAKE 1000 1000		□ 位置	
14 2015 単直文化 平単文化 平単文化 24 40 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00		先踝行	9
(041.05) (05.000 2000) (05.00		最終行	39
44 2013 第単文化 大田谷石 化化金文化 (1041-105) 144 2014 人の中国本 (日本時代の) 文化市民市工 20000 2007214		Y 971	42.33 10/mm
GO414056年度単位 GO1205世第第一大型原産人力比較金 GO14052世界見後少年 GO14052世界見後少年 GO14052世界見後少年 GO14052世界月後少年 GO14052世界月後年 GO14052世界月後年 GO14052世界月後年 GO14052世界月後年 GO14052世界月後年 GO14052世界月後年 GO14052世界月後年 GO14052世界月後年 GO14052世界月後年 GO1405 GO1405 GO1405 GO1405 GO1405 GO1405 GO1405 GO1405 GO1405 GO1405 GO1405 GO1405 GO1405 GO1405 GO1405 GO1405 GO1405 GO1405 GO1405 GO1405 GO1405 GO1405 GO1405 GO1405 GO1405 GO1405 GO1405 GO1405 G		□ オブション	
100 年 世 二十日 年世 二十日 年世 2000 202013 101 日 年 世 2000 202013 101 日 年 世 三日 100 日 日 日 2000 202013 101 日 日 日 三日 100 日 日 日 100 100		排他的な条件	
		- 変数	
		<u>R</u> M	
84 2013 新市工 単単 6005 01 <u>足営業</u> 24 2015 第四支日 本用車 66.6 年 16.			
4006 413 100000 2022200 34 2013 開始支払 工业和紀 互直教筆頭 2017 012			
6 2010 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10			
041,015 041,01			
4 2013 開西支信 高工電量 化ム生文品 20000 4022000 1007 02 (44 2015 単村田 和丁丁ファイアンス報			
LIME DAVID	v .		
<	>	データビュー - C:\Mapping\MQSYSPRT.PAG - (1/2) プロパティ	
I 1/2 ▶ ■ 単位 10/mm ▼ X 445.34 ℃ Y 902.54 ℃ W 423.33 ℃ H 423.33	04 2019 閲	Draw F Map F	Draw B Map B 🔲 🖻 🔍 13% - 🕞 🖯 🔶 🔶



- 4. 右画面でグループのプロパティを次のように定義します。
 - 名前: このグループに対して任意の名前を付けます。(例:G1)
 - 先頭行: グループの先頭行です。データビュー画面に切り替えて、繰り返し行の先頭をクリックした時の"Y"の値から、この例では"8"とします。
 - 最終行:同様にして繰り返しの終了行を"64"とします。
- 5. ゾーンを作成するために、右画面で対象の桁の範囲を指定して、"4" で定義した左画面にあるグルー プの中へ、ドラッグ&ドロップします。その結果、次のように左画面に青色の枠が表示されます。
 - 注1) ゾーンの左端は、必ずグループの中に配置して、外へはみ出ないように注意してください。ゾー ン全体の横幅はデータの表示に関係しませんので、任意です。
 - 注2)開始桁と終了桁は、この後修正しますので、範囲は正確である必要はありません。
 - 注3) ゾーンの高さは、必ず1行分で定義します。

			– 0 ×
●●● ホーム(H) 編集(E) 表示(V) Mapping			Style 👻 🌘
☆ 切り取りn 田 複製の MS Mincho ・ 11 ・ I B U 助り付けP ダフォーマットのコピー・ ● ● ● ● ● ▲ フォントの色・	 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	→ 遅択 → テキストボックス → コンボーネントの表示 /線 № ロゴ 可変要素 四角形 ↓ グラフ	
クリップボード システムフォント	グループ ゾーン	挿入	
4 / * x	Þ	プロパティ	д :
	^	□ 名前	
C		名前	Z11
R H B R T R H B 2010/14/41 ~ E 2010/14/20		442	
C		前に印刷する文字	
日本語 1991年月末日 今日 第二番 第二第回130回 3回130回 日本語 10月末日 今日 第二番 10月末日 11月~11月~11月1日 11月1日 1月1日 11月1日 11月1日 11月1日		後ろに印刷する文字	
14 1015 社員任会 平規 第二名建築 当後 15 年 4555 45 年史 編 1454 451 45 年史 編 1456 451 年史 編 1457 451 年史 編 1570 15 年上 編 1570 15 年上 編 1570 15 年上 1570 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15		□ 文書の中の位置	
10/25 0/201 社業 医治 10/25 0/201 社業 医治 10/27 0/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1		x	645.16 10/mm
101 701 101 12 正 2 12 11 月1日日 101 701 101 1日 日日 101 701 日日 日日 101 701 日日 日日 101 701 日日 日日 101 701 日日 日日 101 701 101 日日 101 701 101 日日 101 701 101 101 101 101 101 101 101 101		Y	1127.76 10/mm
		幅	1460.50 10/mm
	1	高さ	42.33 10/mm
64 2015 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20		□ 位置	
の11 05 社長 単近 、		N	2
		長さ	69
		Y #7/2%	0 10/mm
		向き	0°
		∃ テーブル	
04 2015 周囲支送 末間美一 化五金支払 606 404 64 2015 周囲支送 文田和紀 北直数勝勝		🖃 データタイプ	
1007 11 、 04 2015 均価則金 二重UFJ並行 手許度会会し 約92 617 工業UFJ 1002 017 12 業UFJ 1002 017 12 業UFJ 1002 017 12 第2017 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10		タイプ	文字
		サプタイプ	標準
1011日本 101日 10日日 10日 10日 10日 10日 10日日 10日日 10日日		7ォント	
10月1日 10月11日 10月11日		7421	MS Mincho
1977/1月11日日日日 NTTファイテンス目 (1月1日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日			
1000-001-00 1000-001-00 1000-001-00 1000-001-00 1000-001-00 1000-001-00 1000-001-00 1000-001-00 1000-001-00 1000-001-00 1000-001-00 1000-001-00 1000-001-00 1000-001-00 100000000		フォントサイズ	
<	>	データドュー - C:\Mapping\MOSYSPRT.PAG - (1/2) プロパティ	
■ 1 / 2 ▶ ■ 単位 10/mm × X 645.16 Å V 1127.7 Å W 1460.5 Å H 42.33	1 04 2019 期	Draw E Man E	

- 6. 右画面でゾーンのプロパティを次のように定義します。
 - 名前: このゾーンに対して任意の名前を付けます。(例: Z11)
 - 桁:ゾーンの開始桁です。データビュー画面に切り替えて、繰り返し行の先頭をクリックした時の"X"の値から、この例では"2"とします。
 - 長さ:ゾーンの範囲を表す桁数です。データビュー画面に切り替えて、繰り返し行の右端の桁をクリックした時の"X"の値が"87"で、開始桁が"2"であることから、"86"とします。
 - タイプ:データの表示方法を指定します。文字として表示する場合は"文字"を選択し、バーコード に変換して表示する場合は"バーコード"を選択します。
 - サブタイプ:タイプが"バーコード"の場合、バーコードの規格や QR コードを選択します。
 - フォント:文字やバーコード用のフォントの種類を指定します。

注1) 漢字やひらがなの場合は、英数文字のみのフォントは選択しないでください。

- 注2) フォントの種類に、MS P ゴシックと MS P 明朝は使用できません。それぞれ MS ゴシック、MS 明朝を指定してください。
- サイズ:フォントのサイズをポイント数で指定します。



- 太字、斜体、下線:指定する場合には、チェックを入れます。
- 配置:ゾーンを表す青色の枠の中で、左寄せ、中央揃え、右寄せを指定します。
- 高さ(%):縦方向の拡大・縮小を%で指定します。50%から200%の間で指定できます。例えば、 横倍角には50%、縦倍角には200%を指定します。
- 固定ピッチ:チェックすると、横方向の文字の配置を固定ピッチとします。
- ピッチの幅:固定ピッチをチェックすると、この値を使って文字間隔を調整します。間隔を狭めるには値を小さくし、広げるには値を大きくします。
- 色:フォントの色を指定します。右端の■をクリックすると、カラーパレットが表示されます。
- 条件:ゾーンを表示するための条件を設定します。例えば、特定の桁の値によってフォントの種類 を変える、フォントの色を変える、あるいは表示しないといった設計が可能になります。
- プレビュー機能を使って、スプールファイルがどの位置に、どのように表示されるかを確認します。
 次の画面のように表示されますので、全体を上と左に移動する必要があることが分かります。
 注1)プレビューするには、"ホーム" タブ画面の "プレビュー" ボタンをクリックするか、ショート・カ

ット・キーとして、キーボードの "Ctrl" キーと "W" キーを一緒に押します。 注2)この画面例のように、ゾーンの文字の色を赤に指定しておくと、ひな型の文字の色と区別しやす

くなります。(設計が完了したら、色を黒に戻します。)

	– 0 ×
	Style - 🕡
ロジェクトの関連付け ーバーレイのエクスポート クリプトロ る フレビュー 見、プレビューの保存 プレビュー	込み ジ XPS ウォーターマーク ウインドウ(vv) - ウインドウ(vv)
プロパティ	# ×
 × オンビット 肉き 日 JL 日 93(1) 5 - 93(1) 5 - 93(1) 5 - 93(1) 7 - 93(1)	0 10/mm ^ * * * * * * * * * * * * * * * * * *
ビッテの幅 1 行の文字数 反転表示 合 二 条件 麦件 支字の色 データビュー - c\mapping\mgsysptt.pag - (1/2) ブロ/(ティ)	22 106 20000FF 12U



 グループの赤い枠線の上の線が、上下方向の表示開始位置になりますので、上に移動させるために、 枠線上端中央にある■マークを上に移動します。なお、グループの枠の縦の長さは、表示する行数に 影響しません。

注) 微調整は拡大表示してから行いますので、ここでは大よその位置に調整します。



- 行の先頭を左に移動する際に、ゾーンの左端がグループからはみ出ないようにするために、予めグル ープの枠線の左の線中央の■マークを左に移動しておきます。その後、ゾーンの左の枠線を左方向に 移動します。
 - 注1) グループの中のゾーンの上下方向の位置は、データの配置に影響しません。グループの上枠線の 位置で決まるからです。
 - 注2) ゾーンの左枠線の位置でデータのレイアウトの左右の調整を行うのは、ゾーンのプロパティで"配置"が "左寄せ"になっているからです。"右寄せ"の場合は、右枠線の位置で行います。



10. グループの開始行の左端に近い部分を倍率 100%でプレビューすると、次の画面のように表示されます。



- 注1)正確な確認のためには、必ず倍率 100% でプレビューしてください。
- 注2)プレビューすると、右画面が "データビュー" の場合、プレビューされたデータは黄緑色、されて いないデータは黒色で表示されますので、ゾーンやグループの範囲外に残っているデータを見極 めやすくなります。



- 11. この例では、行の左端を少し右に移動することが必要であることが分かりますので、ゾーンの左枠線
 中央にある■マークを少し右に移動します。調整する時には、プレビューを解除してください。
 注)文字や行の間隔は、この後調整しますので、先頭の行や先頭の桁の位置のみに着目します。
- 12. 左画面で右端の桁の位置をひな形の文字位置と比較すると、もっと右に配置する必要があることが分かります。そのため、固定ピッチを指定し、文字ピッチをもっと大き目の値に変更します。

・ ホーム(H) 編集(E) 表示(V)	Mapping					Style 👻 🕑
 ☆ 切り取りの 田 複製の 助り付け(P) ゴーピー(C) グラオーマットのコピー クリップボード 	MS Mincho 11 「 I B U 三 三 三 画 <u>A</u> フォントの色 ~ システムフォント		はけ スポート フレビュー 日、プレビューの保存 ブル	読み込み 🎲 XPS ウォーター ビュー	マーク ウィンドウ(w) ウィンドウ(h)	
d designer.mp* x		Þ 🗾	ータビュー - c:\mapping\mqsysprt.pag - (1/2)		# ×
3054594	3054594	Î	8	0 3054	594	*
3004594	3004594		0	3004	594	
2977314	2977314		3 0	2977	314	
2947314	2947314		0	2947	314	
2945818		9	9 50	2945	818	
OF 45010	2045818	× <	ークビュー - c:\mapping\mqsyspit.pag - (1/2	2) プロパティ		> •



13. ゾーンのプロパティ画面で"ピッチの幅"を"25" にした結果と、"26" にした結果を比較します。右余白 を考慮して、"25" に決めます。これで左右方向の調整は完了です。



注) ゾーンのプロパティを変更する場合は、プレビューは解除してください。 "25"の場合
"26"の場合

14. 縦方向の調整のために、次の画面のように、ページの最後の行をプレビューで見ると、行ピッチを少 し広げる必要があることが分かります。

(1) ホーム(H) 編集(E) 表示(M)	Mapping					Style + (
いったりののです。 いったしの いったの い い い い い い い い い い い い い	MS Mincho ・ 11 ・ Ⅰ B U ■ ■ ■ ▲フォントの色・ システムフォント	うロジェクトを生成す	★ プロジェクトの関連 参 オーバーレイのエク 回 スクリプト回 生成する	付け スポート フレビュー 日 アレチストリー	ムの読み込み 🏷 XPS ウォーターマーク ー R存 プレビュー	二 ウィンドウ(W) ウィンドウ(W)
designer.mp* ×			ÞJ	מא <i>ר</i> יי		ą
	$ \begin{array}{r} 04 \\ 6097 \\ 04 \\ 6098 \\ 04 \\ 6099 \\ 6099 \\ \end{array} $	2019 417 2019 417 2019 417 417	判₩ ⁴ 機材 関西	 ○名前 系方 スプレト 第二回刷するス字 ○女書の中の位置 ◇ 文書の中の位置 ◇ 文書の中の位置 ◇ 公書の中の位置 ◇ (公置) ◇ (公定) ◇ (公回) ◇ (公置) ◇ (公置) ◇ (公置) ◇ (公置) ◇ (公置) ◇ (公 (公	Z11 183.72 10/mm 1121.83 10/mm 1521.93 10/mm 75.35 10/mm 2 86 0 10/mm 0'	
<	E 6099 H30/02	417 2,000×10		□ 〕 データ94.7 87プ リプタイプ □ フォント スマント デッタブス デッチの所属 データビュー - c\mapping\mqsyspt.pag	文字 構築 MS Mincho - [1/2] プロバディ	


14. 行ビッチを調整するには、"表示" タブ画面で "条件" にチェックを入れて、画面右端に "条件" 画面を 表示します。"後ろの間隔" の値を調整することで、行ピッチを修正します。下の例で

は、"44.02"(1/10mm) としています。

注) 文字ピッチも行ピッチも、ひな形のイメージと完全に一致するように設定することはできません。最適な値を選択するようにしてください。

- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					- 0 ×
★-ム(H) 編集(E) 表示(V) Mappin	ig				Style 👻 🕜
 ワ グリッド マ データビュー マ ブジェクドッリー 上部ルーラー マ ブロパティ(P) マ ダブパー(T) エ たルーラー マ 条件 表示/非表示 	λτ 文字IJZŀω				
d designer up x		▷ プロパティ	# ×	条件	⊅ ×
	04 2019	^ Y #70%	0 10/mm	グループ	,
	04 2009	向き	0*	条件 なし	j.
	6096 417	田 テーブル		新規	
	0000 111	□ データタイ	17	<i>前の間隔</i> 01	0/mm
	04 2010	月月 开 タイプ	文字	後3の間隔 44.	02 10/mm
	04 2019	关 4 サプタイプ	標準	<u>**</u> &	,
	COOT 117	□ フォン ト			
	6097 417	フォント	MS Mincho	•	
	0097 48Y	1111 I I #1X	11		
	04 2019	林长 木大 太子			
	01 2010	「人文(一」 解体			
	6008 117	下線			
	0090 417	彩莲	左		
	01 0010	月日 コエ 海さ(%)	100		
	04 2019	美 四 周定ビッチ			
	04 2009	ピッチの幅	25		
	6099 417	1 行の文字数	94		
	0000 111	反転表示			
- L	A & A & A & A	Ê	#0000FF		
	1230,000 B 0489/	日 条件			
	BROOM STARAN	条件	なし ~ _ ~		
		ゾーン実行条(4		
<		> データビュー -	c\mapping\mqsysprt.pag - (1/2) プロパティ	グループの行の後の間隔	
【 【 1/2 ▶ ▶ 単位 10/mm ▼ X 183.	72 ‡ ¥ 1121.8 ‡ ₩ 1921.9 ‡ H 75.35 ‡	Z11	Draw F Map F Draw B Ma	арв 🗏 🗏 🔍 100% - 🕞	

- グループとゾーンを使用した繰り返し行のレイアウトの設計は、以上で完了です。
- 15. タイトル欄は文字のサイズが少し大き目なので、単独のゾーンを使用します。右画面 "データビュー" 画面で、2行目中央にある "総勘定元帳"を範囲指定し、それを左画面の該当する場所にドラッグ& ドロップします。





- 16. 右画面に表示されたプロパティに、手順"6"と同様に各値を指定します。
 - 注1) 単独のゾーンでは、プロパティの中の "位置" の "先頭行" の値が、範囲指定したデータの行を表 しています。
 - 注2) 単独のゾーンの上下方向の位置は、枠の下線が基準になりますので、調整するには枠の下線の 中央の■マークを上下に移動して行います。
 - 注3) この例では、タイトル文字の大きさを現行のサイズより大きな "13" ポイントとしています。
 - 注4) 下線の左右中央にタイトル文字を配置するため、"配置" を "中央" とし、ゾーンの枠の横幅を下 線の長さと一致させています。



- 17. 同様にして、他の単独のゾーンもそれぞれ次の画面のように配置して、データの配置の指定もれがないか確認します。
 - 注) グループとゾーンを組み合わせて指定したデータは、グループをクリックすると、次の画面のように、右側の "データビュー" 画面の該当するデータの範囲が青く表示されます。単独のゾーンを クリックした場合も、同様に該当する範囲が青く表示されます。





3.5 オーバーレイを設計する

1. 罫線や固定文字等の所謂オーバーレイを設計するために、画面を"DrawF" 画面に切り替えます。 DrawF 画面では、ゾーンやグループは表示されません。

ひな形のイメージの罫線の位置や太さを参考にして、1本目の明細行の横罫線を引きます。この時、 プレビュー状態にして、文字データとの間隔が適切になるように注意して罫線を引きます。このよう な直線を引くには、"図形"タブの"線"ボタンをクリックして、線の開始位置から、マウスの左ボタン を押したままで移動させて、終了位置でボタンを離します。この時、キーボードの"Shift"キーを押し ながらマウスを移動すると、水平線や垂直線が正確に引けます。横罫線の長さは調整可能ですから、 先ずは任意の長さで引いて、先にその上下方向の位置を調整します。

注) 引いた横線を選択した時に表示される画面下部の"X"の値は、線左端の X 座標、"Y" の値は "Y" 座標、"W" は線の長さです。直接、これらに値を入力して、位置や長さを調整することが可能です。





- 線を指定して右クリックすると、左下のようなメニュー画面が表示されます。このメニューは "図形" タブ画面で選択できる他の要素(正方形、長方形、楕円、テキストボックス等)にも共通です。
 - •前面/背面に移動:複数の要素が重なった場合に使用します。
 - ペン:線の太さや種類、色を指定します。テキストボックスの場合には、テキストボックス周囲にペンで指定された線を書きます。
 - 塗りつぶし:長方形や円の内部を塗りつぶします。色や網掛け、グラデーションを指定します。
 - •回転:90度単位の他、任意の角度で回転させます。
 - 配置: 複数の要素に対して、左揃えや上下中央揃えを指定します。
 - ●ロック:位置を固定します。

前面に移動(B) 背面に移動(E)	F10 F9	ペンの設定 〇 なし(N)	×
ペン(P)	Shift+F2	べい設定	
塗りつぶし(F) 回転(O) 配置 ロック(L)	F2 > >		
切り取り(T) コピー(Y) 貼り付け(P) 削除(D)	Ctrl+X Ctrl+C Ctrl+V Del	f≣(H):	
すべて選択(S)	Ctrl+A	"ペン"を選択 →	キャンセル

注) これらの設定は、右画面のプロパティでも指定可能です。

3. データの右端と比べて、"Shift" キーを押しながら適切な場所まで線を伸ばします。

🝙 🖬 = 🕫 (> 🚺 =					-	- 0 ×
・ ホーム(H) 編集(E)	表示(M) 図形					Style 👻 🕜
☆ 切り取り(n) 貼り付け(n) □ コピー(c) ダ フォーマットのコピー クリップポード	(複製型) MS Mincho ・ 11 ・ I B U ■ 車 車 ■ ▲フォントの色 ・ ミステム/フォント	A こう おいなま 日本 A A A A A A A A A A A A A A A A A A	→ 違択 正方形 備円 /線 四角形 円 う 弧 角が丸い四角形 形		・ コンボーネント 生成する	
d designer.mp* ×	27020701	D D D D D D D D D D D D D D D D D D D	プロパティ			4 ×
		^	□ インターフェイス			
			名前		線	
			□ 文書の中の位置			
	3/01500		x		175.26 10/mm	
	<u>J401000</u>		Y		411.48 10/mm	
			45		507.15 10/mm	
			唐さ 一		0 10/mm	
	2401002		四年		0	
	3491223		□ 塗りつかし タイプ		ts	
			217 #		78.0 #EEEEEE	
			ひ グラデーション			
b0000	3341223		<i>tt</i>		4	
	0011440		ē		#000000	
			タイプ			
18270	2222011					
10213	5222544					
	23 121 142					
0000	2107044					
50000	5181944	v .	- 61	teute (
) «		>	テータビュー - c:\mapping\mqsyspit.pag - (1/2)	ノロハテイ		
【 ▲ 1/2 ▶ ▶】 単位	10/mm * X 175.26 🗘 Y 409.78 🗘 W 1828.8 🗘 H 3.38 🌲	緑	Drav	WF Map F Drav	w B Map B 🔲 🗏 😤 🍳 100% - 😑	(+)



4. 2本目以降の横罫線を等間隔で引くには、横罫線を指定してから、"ホーム"("編集", "図形")タブにあ る "複製" ボタンをクリックします。そして次のように値を指定して"OK"ボタンをクリックします。

📻 🖬 = 👏 (= 🙆) =					
ホーム(H) 編集(E) 表示(V)	⊿形				
% 切り取り(r) III 複製の	MS Mincho • 11 • <i>I</i> B <u>U</u>		→ 選択 □ 正方形 ○ 楕円		
貼り付け(P) ダフォーマットのコピー	■ ■ ■ ▲フォントの色・	テキストボックス イメージ 静的な表	/線 □四角形 ○円 →弧 □角が丸い四角形 ○形・	▲ 塗りつふし ~ コンボーネン	1
カレップポード	システムフォント	挿入	#2	フタイル、生成する	

- •下方向に複製する複製する数:下方向に複製しますので、必要な本数を指定します。
- •上下の間隔: グループの中のゾーンのプロパティで、行ピッチを指定する "後ろの間隔" は "44.02" としました。2 行につき1本罫線を引くので、44.02 x 2 = 88.04 を指定します。

• 右方向に複製する:右方向には複製しないので、"0"とします。

複製		×
下方向に複製する 複製する数 10	上下の間隔 88.04 10/mm ~	ОК 4 1721/J
右方向に複製する 複製する数 Cl	左右の間隔 1828.80 10/mm ~	
データの設定 1 〇 右方向 系件の値も増やす	[[増やす [[増やす	

5. 以上の手順を繰り返して、必要な横罫線を等間隔で引きます。

注) 最下段の罫線も引いておくと、後で長方形を書く時に下の横線の位置を決めやすくなります。

	– Ø ×
ホーム(H) 編集(E) 表示(V) 図形	Style = 🥑
☆ 切り取り(1) 通信型(2) MS Mincho 11 I B U A テキストボックス 4 テキストボックス 4	
クリックホート システムノオント 挿	■人 カン 人グイル 生成9つ
4 designer.mp* ×	▶)⊔/71 4 X
C	名別 禄
C R.a. 8 2010/11/11 ~ 8 2010/11/10	文書の中の位置
	X 1/5.26 10/mm
日本 2012 第四支第三人 小単野市 道東市市美田人 (1月1日 - 1月1日 - 1月11日 - 1月1	Y 2700.86 10/mm
1455-465 年度 141-003 米比金 相単定二 完計用単 11023 45 北島 単原 11023 45 北島 単原	1828.80 10/mm
14、2019 北國東北區 東高市 彩化金支加 <u>452 495 史目</u> 20010 20170(4) 14 2015 末上点 安居市 交通黄母菜	<i>冊さ</i> 0 10/mm
(14 001 #Ax0 A0#2 #6426 4030 41 500 #Ax0 2 #6426	
64 2015年間月月日 年夏末市 交通費包用車 <u>6449</u> 54 2015期月支日 現日和田 家工业支払 2555 3054034	- 200 al
(817 20
(4) 2015 第月支払 月目を日人 和公主支払 200405 - 96/2024 (4) 2015 天払金 2月用金子 又直要発明算	<u>₽</u> #FFFFF
144 2012 年夏夏 大理原来也 人比此金 244 2012 年夏夏 大理原来也 人比此金 244 2012 年夏夏 100 100 100 100 100 100 100 100 100 1	
44 2017 W R # 276 2 W R 6 2 W R 5 2 W	<u>太さ</u> 4
04 2019 第第章 5-9-6-2010 日正年永安高井 2010 日本	会 #000000
	917
41 2015 万氏男会 万東リドノ政社 多声度会社し 4922 化11 二氏三ド 万東日子 2010年3月1日 - 2010年3月1日 - 2015 日本三日子 - 2010年3月1日 - 2010年3月1日	
4 2011 - 平田県 4/1~12周期 	
04 2019 5 7 1 5 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	
04 2013 (月間後 勝声 107 日) 14 2015 開発文化 高米常素 化石油文化	
44 2011 単形剤 月下ファイナンス単 	
【 1/2 ▶ # 単位 10/mm × X 2751.6 ↓ Y 3014.9 ↓ W 0.84 ↓ H 0.84 ↓	or Draw F Map F Draw B Map B ⊟ ⊠ 🔍 14% T (-) U (+)



周囲の枠線を引くために、"四角形"ボタンをクリックして長方形を描きます。マウスを使って縦横線の中央にある■マークを移動して、サイズや位置を調整します。

国際	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	Mincho ・ 11 ・ <i>I</i> B U 著 音 画 <u>A</u> フォントの色 ・ システムフォント	A テキストボックス イメージ 静的な表 挿入	◆ 選択 □ 正方形 ● 楕円 /線 □ 四角形 ● 円 ① ① 角が丸い四角形 形	ばんの色・ 塗りつ気レ・ マハ・ スタイル なり、 マハ・ てか・ てか・ 生成する	− C × Style * @	
d de	signer.mp* ×	•	Þ	プロバティ		# ×	
	2	-	r î	□ インターフェイス 名前	四角形		
	年	HI T. 21	12	□ 文書の中の位置 ×	173.56 10/mm		
	8.0	相干性	E	Y de	228.60 10/mm		
	ИП			ne 唐さ	395.39 1u/mm		
				0 47	0		
			一 塗りつぶし				
				917	なし		
				£	#FFFFFF		
	64 6685	and the state of the		クラデーション	Ll		
	04 2019	- 施 内 支 広	1		1.4		
		and the state of the		A.C.	4		
	60.34 405			317	#00000		
	04 2019	社員板札	A 3				
	BADE 105	01 20 20	-				
	0035 405	半見 划					
	04 2019	未払金					
<			>	データビュー - c:\mapping\mqsysprt.pag - (1/	2) プロパティ		
4 4	1/2 ▶ 単位 10/mm * X	73.56 C Y 228.60 C W 395.39 C H 322.58 C	四角形	Drav	🛛 F Map F Draw B Map B 🔢 🖽 🥵	100% - 🕤 💎 🖓 🕀	

- 7. 項目名直下の1本目の横罫線を引くには、初めに引いた横罫線をコピー&ペーストした後、Y座標を 指定して上下の位置を調整します。
 - 注1) M-Designer ではコピー&ペーストすると同じ位置に配置されます。そのため、例えばペースト した結果を、カーソルキーを使って上下に移動すれば、コピー元と左右にずれることが無いの で、帳票設計するには便利です。
 - 注2) 長方形の下の線の位置は、"5"で引いた最下段の横罫線に重なるように調整します。その後、その下に重なっている横罫線は削除します。
- 8. "線"を使って、縦罫線を引きます。左端の縦罫線のように数字と数字の中央に引く必要がある場合に は、"X" 座標の値を直接入力して位置を調整します。

									.—	ð X
・ホーム(H) 編集(E) 表示(V)	図形									Style 👻 🕜
☆ 切り取りの 田 複製の 貼り付け(P) ダフォーマットのコピー	MS Mincho * 11 () 111	・ <u>I B U</u> トの色・ デキ	A レントボックス イン	-ジ静的な表	 は選択 □ 正方形 / 線 □ 四角形 へ 1 □ 角が丸いゅ 	○ 楕円 ○ 円 四角形	 ペンの色 - 金 塗りつぶし - 三 ペン - 	う コンボーネント		
クリップボード	システムフォ	>>>	挿入		形		スタイル	生成する		
d designer.mp* ×							Þ	ブロパティ		φ×
(^	日 インターフェイス	1.0	
	_							名詞	線	
								□ 又書の中の包査 >	268 20 40/mm	
			CC.	443	T. DI	12		y v	208.39 10/mm	
		5.00		- 18	+ #	B		榴	0 10/mm	
								廣さ	364.91 10/mm	
			1.1					🗆 塗りつぶし		
								タイプ	なし	
								é	#FFFFFF	
								グラデーション		
	_		-	C. Services I.					1	
	- (14 20	10	即而	专正		/	АС Ф	4	
		JT 20	10	天 二	又口		1	417	#00000	
	6	SO21 1	05				1			
		0004 4	00			_	_			
	(04 20	19	社員	仮払く		<u> </u>			
			~ -		7-1-					
	(5035 4	05	半見	夘直					
		04 20	19	未扒	金		制。			
¢		20		114	11×			データビュー - c:\mapping\m	ngsyspit.pag - (1/2)	プロパティ
【< 4 1/2 ▶ ▶】 単位 10/mm	▼ X 266.70 ‡ Y 230.29 ‡ W	3.38 🗘 H 364.91 🗘	約	R		Drav	VF Map F Drav	v B Map B 🔳 🗃 🕄 🥄	100% - 😑	



縦罫線の長さを長方形と接するまで伸ばします。縦罫線は等間隔ではないので、複製は使用できません。1本ずつ、コピー&ペーストしたらカーソルキーを使って横方向へ移動し、X座標の値で位置を調整するという作業を繰り返します。

							- 0 ×	<
・ ホーム(H) 編集(E) 表示(M)	図形						Style -	-
いっぱっぱー(C) いっぱー(C) ダフォーマットのコピー	MS Mincho ・ 11 ・ <i>I</i> B U (新会社) - 11 ・ <i>I</i> B U (新会社) - 11 ・ <i>I</i> B U (新会社) - 11 ・ <i>I</i> B U	A こう おいなま アキストボックス イメージ 静的な表	▶ 選択 □ 正 /線 □四 入弧 □角	方形 ○ 楕円 角形 ○ 円 が丸い四角形	 	シンボーネント		
クリップボード	システムフォント	挿入		形	スタイル	生成する		
d designer.mp* ×			Þ	プロパティ			3	×
			^	- インターフェイス				
		-		名前		線		_
	8 8	Jacobs Anna Anna Anna Anna Anna Anna Anna Ann		□ 文書の中の位置				
	A 8 8 8 12 8 2 12 1 10 1			x		1876.21 10/mm		
				Y		324.27 10/mm		
		10000120		橋		0 10/mm		
	N DE REALE CHE AUGUST.			廣さ		2551.85 10/mm		
	NOT ON THE REPORT OF THE PARTY			12) \$ 7		0		
1. The second	ne po State Rental Contractor	- Joseph and Andrewson		日 塗りつぶし				
	2012년 1월 8/19년 월 10/19년 10/18년 10/18년 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	200804911 20080491		317		なし		_
0	N DO NOR DINNER DINNER DE LA	- checkener (Ê		#FFFFFF		_
	C D C C C C C C C C C C C C C C C C C C			グラデーション				
1	C. P. State Contraction of the State							
	C DE STA	2 PRAMA IN		太さ		4		_
				Ê		#000000		
	1.12 AVV2 VAL	- Party a		317				_
¢			>	データビュー - c\mapping	g\mqsysprt.pag - (1/	カープロパティ		
M 4 1/2 ▶ ▶ 単位 10/mm	* 1876 2 * ¥ 324 27 * ₩ 0.84 * H 2551.8 *	1 50		Dra	F Man F Draw	A MAR R 10 10 100	100	G

- 10. 固定文字を入力するために、"テキストボックス"ボタンをクリックし、マウスの左ボタンを押したま ま長方形を描いて、大きめに入力範囲を指定します。左ボタンを離すと次の画面のように、文字を入 力する場所が現れますので、適切なフォントとそのサイズを指定して固定文字を入力します。テキス トボックス以外の場所をクリックするか、キーボードの "Esc" キーをクリックすると、入力内容を確 定します。
 - 注)入力内容を編集するには、対象のテキストボックスをクリックした後、右クリックして"編集"を指定するか、キーボードのF7キーを押します。





 この例では左右の縦罫線に対して文字を中央に配置したいので、テキストボックスの左右を左右の縦 罫線と揃え、文字の配置に "中央揃え" を指定しています。その他、文字と文字の間に半角スペースを 追加しました。



 他の項目名も、テキストボックス"相手科目"をコピー&ペーストした後、キーボードのカーソルキー を使って右方向に移動して編集すると、上下にずれることなく配置できます。左右の位置の調整は、 テキストボックス左右の■マークを移動して行います。項目名によっては、文字間の半角スペースを 追加して、ひな形のイメージと近くなるようにしています。

注) テキストボックスの上下の移動は、上中央の■マークを移動して行います。

★-ム(H) 編集(E) 表示(V)	図形	
 ☆ 切り取り(r) 田 複製(2) 助り付け(P) → ピー(C) ダ フォーマットのコピー 	MS Mincho * 11 * <i>I</i> B (本) フォントの色 *	U A ● ● ● 2 ● 2 ● 2 ●<
クリップポード	システムフォント	挿入
designer.mp* ×		Þ
(東金 (現金	能助定元级	10/05/16 E 2010/04/01 ~ 표 2010/04/30
月日 相手科目	摘要们	昔 方 貸 方 残 高
6	2 福 麗 雅 2	3401540 34 500



13. このひな型では不要ですが、会社のロゴマークを固定イメージとして貼り付ける場合があります。その場合には、"イメージ"ボタンをクリックし、マウスの左ボタンを押したまま、貼り付ける場所の近傍に長方形を描いて、左ボタンを離します。次の画面のように、デフォルトでは bmp 形式のファイルを前提にイメージ・ファイルを指定する画面が表示されます。bmp 以外に jpg 形式や tif 形式のファイルを指定できます。

注) イメージ・ファイルを保存するフォルダーや、ファイル名には必ず英数文字のみを使用してくだ さい。全角文字が含まれていると、エラー・メッセージが表示されて、ファイルを開けません。



14. 元の縦横比率を保持するかを確認するメッセージが表示されますので、"はい"ボタンを押します。 M-Designer ×



15. 次の画面のように固定イメージが貼り付けられますが、必要に応じて場所やサイズを調整します。調整することによって、縦横比率が変わってしまった場合には、イメージに対して右クリックして、元の比率をクリックします。





16. この例では、テキスト・ゾーンの文字の上に、後からイメージを貼り付けたので、イメージが文字の上に表示され、下にある文字は表示されません。どちらを前面に表示するかは、イメージに対する右クリックで表示されるメニューの内、"前面に移動"や"背景に移動"を選択することによって、選択できます。



17. ただし、MapF 画面で定義したゾーンの文字に対しては、DrawF 画面で定義したイメージは、常に背面に配置されます。



18. その他の文字や線を追加したら、オーバーレイは完成です。初めにひな型として貼り付けたイメージ を削除します。

注) ひな型のイメージを削除する時には、左画面に表示されたイメージが、■マークと●マークで囲 われた状態になっているかを確認してください。間違えて他の部分を指定したまま削除した場合に は、画面左上の"やり直す"ボタン^のを押せば、元の状態に戻ります。





3.6 プロジェクトを生成し、フォーマットを取り込む

1. "MapF" 画面に切り替えて、スプールファイルのデータのフォントの色を黒に変更します。キーボー ドの "Ctrl" キーと "A" キーを一緒に押して、"DrawF" 画面上の全ての要素を指定したら、画面上部の メニューにある"フォントの色"を自動的(黒)に設定します。

 参切り取り(r) コピー(Q) 	□ 複製(D)	MS Mincho	* 12	• I]	B U	M		関連付け)エクスボー
り付け(P) ダフォーマットのコピー				の色、		プロジェクトを生た	^{戈する} 🗐 スクリプト(5)	
クリップボード			シー 日朝	的色			生成する	
			長準の1					^
				10色				

- 複数の PC で M-Designer を使用していて、かつ IFS との間にファイル・サーバーを介さない FTP 接続している場合は、"lstobj.txt のインポート"を行って、PC 上の lstobj.txt ファイルを最新の状態とします。
- 画面上部のメニューにある "プロジェクトの生成" ボタンをクリックします。次のような画面が表示されますので、3 種類の拡張子 "mpp", "mpw", "mpi" を持つプロジェクト・ファイルのファイル名と保存場所を指定します。
 - 注1) ファイル名は、拡張子以外は必ず同じ名前にしてください。
 - 注2) デフォルトでは、共有フォルダー下の"¥docpc"フォルダーに、"フォーマット名シーケンス番号" というファイル名で保存されますが、ファイル名の変更は可能です。ただし、保存先は必 ず "¥docpc" フォルダーか、そのサブフォルダーとしてください。

	- a x
ホーム(H) 編集(E) 表示(V) Mapping	Style * 🕐
	1202ポート フレニーの統分込みは2×55 0π-9-マーク フレニーの統存 フレビニーの依存 フレビニー フレビニー フレビニー フレビニー フレビニー フレビニー フレビニー
d designer.mp* x	プロパティ # ×
25/32/10/06/#7 70/32/10/10/10/10/10/10/10/10/10/10/10/10/10/	Impo 0K Impo
	SO/S/ YES
	7#-791-8
< > >	データビュー - c:\mapping\mqsysprt.pag - (1/2) プロパティ
【 ◀ 1/2 ▶ ▶ 単位 10/mm ▼ X 2958.2 ℃ Y -182.0 ℃ W 0.84 ℃ H 0.84 ℃	Draw F Map F Draw 8 Map 8 🗏 🗄 🕾 🔍 14% - 🕞 🕄 🔶 🕀



4. "OK" ボタンをクリックすると、生成が始まり、終了すると次のような "生成レポート" が表示されます。黄色信号は注意信号なので無視できますが、赤信号が表示されたら対処しないとプロジェクトは生成されていません。赤信号は、多くの場合、MSP ゴシックや MSP 明朝フォントは使用できないといったメッセージです。そのような場合は、"DrawF" 画面でキーボードの "Ctrl" キーと"A" キーを一緒に押して、全ての要素を指定した後、画面上部のメニューにある "フォント" 欄で MS ゴシックや MS 明朝を再度クリックして指定し直すと解消されます。



- 5. Mapping OPALE を使用するために、5250 端末画面で次の操作を行います。
 - 5250端末画面のコードページを"939"とします。
 - ジョブの CCSID を"5035"とするために、コマンドラインから"CHGJOB CCSID(5035)"を実行します。(サインオンしているユーザーが、"MAPPING"の場合は、不要です。)
 - Mapping OPALE のメニュー画面を表示するために、コマンドラインで "mapping" を実行します。
- Mapping OPALE が起動したら、実行キーを押した後、メニューの中から "Mapping" → "Mapping フ ォーマットの取り込み"を選択して実行します。次のように表示された画面に、"フォーマット名" 欄 に生成したプロジェクトのフォーマット名とシーケンス番号が表示されますので、それに対して "1= インポート"を指定して実行します。
 - 注) 既に取込済みのフォーマットがあった場合には、実行後に置き換えの可否を確認する画面が表示 されますので、"Y" か "N" を指定します。





7. 取り込みが完了すると、次のような画面が表示されます。これで、設計した帳票フォーマットの取込 が完了しました。



取り込んだフォーマットをスプールファイルに適用して PDF ファイルを生成する手順は、マニュアル 『Mapping OPALE 導入・利用ガイド』の"第3章 Mapping OPALE のコマンドを使って PDF ファイルを

生成する"に記載していますので、ご参照ください。

3.7 フォーマットの取り込みで発生したエラーに対応する

lstobj.txt ファイルの取り込みに失敗した旨のエラー・メッセージが表示されて、フォーマットの取り込み ができない場合があります。このような場合には、次の手順を実行してください。

- 1. Mapping メニューのコマンド \rightarrow システムコマンドを選択して、コマンドラインから"CHKENV"を実行 します。
- 少し待つと、"A spool file CTL_INTEG has been generated"というメッセージが表示されます。
 Mapping メニューから Mapping → スプールの操作を選択し、スプール名に"CTL_INTEG"を指定して





3. 作成された"CTL_INTEG"に対して 5= 表示を実行して内容を確認します。

A - RELIDATA			
	-		2
イル 編集 表示 通信 アクション ウィンドウ ヘルプ			
Pa 🕼 🛧 🛃 🥥 💷 🌎 🐺 🕮 📟 💥 🍰 🚢 👗 🗒 🗒 🕫			
MAPD006 スプールの操作		SA102P	
2847名 中午ナーナヤリ ナノギャン	23/08	3/09 18:4	1
送抓後、美行キーを押してくたさい 1= 送信 2= 変更 3= 保留 4= 削除 5= 表示 6= 解散 7= メッセージ 8= 属件 9= 印刷状況			
N=Napping E= 分割 R= 再印刷 D= 複製 P=PC への送信 T=TCP/IPによる送信 A=PDF B= 電子メール C= コピー S	S=Sort		
Search · · · · · ·	7		
Sort : <u>Spool</u> User Job Outo Status Date UserDat FormTyp	1		
Opt Spool User Job Job# Splf# CUTQ Sts Nb <mark>Ascii</mark> Date Time Reference I	Formtype		
Program / Librar CTI INTEG2 WAKUPA OPADEVOODE 113621 OPPINT PRV 1 1 122 15/06/22 02:20:30MP 0160P3 + 9	an a	7	
CTL_INTEG3_IMAKURAGPADEVOOOF_I13664QPRINTRDY_11_32_15/06/23_09:23:24NAP_016CP) *5	STD		
CTL_INTEG3_IWAKURA _ QPADEVOODF_113664 _ QPRINT _ RDY_1 _ 13215/06/23_09:37:37NAP_016CP) *S	STD		
CTL_INTEG_WAPPING_OPADEVOODS_912554OPRINTHLD_13_132_14/04/23_12:43:06MAP_862+S	SID		
CTL_INTEG_WAPPING_QPADEVOOUT_922095QPRINTHLD_TT32_17/04/23_12-16-21MAF_002<	STD		
5 CTL_INTEG WAPPING QPADEVOOON 286137 QPRINT HLD 1 2 132 09/08/23 17:32:53NAP_862 *S	STD	11	
		5	
Description of a discovery			
Parameters options I, Z, 3 or command			
F1=Help F3=Exit F5=Refresh F11=Details F21=Commahds F22=Printers			

- 4. 次のような画面が表示されます。"Impacted formats:"に表示されたフォーマットは、Mapping OPALE により問題のあるフォーマットで、これがエラーの原因となっていることが分かります。(この画面例 では、"LABEL_M 00070")
 - 注) No Error と表示された場合には、画面を閉じて"7"へ進みます。

A - BELLDATA	—		\times
ファイル 編集 表示 通信 アクション ウィンドウ ヘルプ			
Fi Fi 🏠 🛧 🛃 🕗 💷 🧌 🐺 🚟 🖾 🎟 💥 🍰 🚢 👗 🗒 🖤			
スプール・ファイルの表示 ファイル : CTL_INTEG 制御 検索 * + 1 + 2 + 3 + 4 + 5 + 6 + 7 + 8 + 9 + 0.	ジン行 1/2 1 - +1・	127 • 2	
フォーマットの整合性チェック			
Impacted formats :			
Format Sequence LABEL_N 00070			
To correct the problem :			
 Delete the formats which are badly referenced Use the MAPRGZ command to reorganize the Mapping files Use the CRTLSTOBJ command to create the Istobj.txt file In Designer, if configured in FTP, reimport the Istobj.txt file from the preferences menu Regenerate the formats you deleted Reimport them 			
Additional technical informations : List of defect object resources		結/	
F3= 終了 F12= 取消し F19= 左 F20= 右 F24= キーの続き		吹て 、	
MA* A 英数半角 03/02			



5. そこで、Mapping メニューの Mapping → Mapping フォーマットの操作を選択して実行し、表示された フォーマットの中から該当するフォーマットに対して、4= 削除を実行します。

💻 A - BEL	LDATA					- 🗆	×
ファイル 編	集 表示 通信	アクション ウィンドウ 🥠	ヽルプ				
Pa 🕯	a 🟦 🛃 🖯 🤇) 🗉 👘 🐺 🔚 🗷) 📰 💥 🍰 📕	💩 🚢 🏮 📀			
MAPDO	16	Mappi	ng フォー	マットの操作		SA102P	
11011 200		mapp			23/08/09	19:01:04	
選択後	後、実行キ	ーを押して	ください				
2= 7	プロパティ	' 3= ⊐ピー	・ 4= 削除	5= オブジェクトの表	示		
Soaro	h•						
Sort	:	0 I ang	O Format	• O Seg O Text			
0010		⊖ Date	- Forma				
Opt.	. Lang.	Format	Sequence	Description	Last	used	
_	XPS	KTEZZ1	00010	Default	23/0	8/04	£
_	XPS	0C004V0	00010		23/0	18/02	
	XPS	BAYTOP	00010	Seminar1029Cover1	23/0	7/27	
_	XPS	BAYTOP	00020	Seminar1029Detail1	23/0	7/27	
• -	PDF	JJ0110P1	00010	JBC_A4_1/1_YOKO_HIKA	E 23/0	7/25	
	PDF	JJ0110P1	00020	JBC_A4_1/1_YOKO_SET	23/0	7/25	
	XPS	OPLTEST	00010	TestCase Format	23/0	7/17	
$\frac{4}{1}$	XPS	LABEL_M	00070	EU007	23/0	7/14	
4	ZEBRA	LABEL_M	00070	EU007	23/0	7/12	
_	XPS	THREEPARTS	00010	Seminar1029Detail1	23/0	7/11	
_	XPS	THREEPARTS	00020	Seminar1029Detail1	23/0	1/11	
_	XPS	THREEPARTS	00030	Seminar1029Detail1	23/0	1/11	
	1-Help	E2-Evit	#5-Po	fresh Fl2-Cancel			
	r-ne p	I J-LXIL					
(A≭)	4		英数 半角			19/005	

- Mapping メニューの コマンド → システムコマンドを指定して"MAPRGZ"コマンドを実行します。これ は Mapping OPALE が使用するファイルの再構成を行うものです。
- 7. 次に"CRTLSTOBJ"コマンドを実行して、lstobj.txt ファイルを再作成します。
- M-Designer の共有フォルダーに FTP 接続を使用している場合には、M-Designer の設定画面のサーバ ー・タブにある"lstobj.txt のインポート"を行って、"7"で再作成した lstobj.txt ファイルに置き換えま す。
- "5"で削除したフォーマットのプロジェクト・ファイルを M-Designer で開いて、プロジェクトの生成を 行い、Mapping メニューの Mapping → Mapping フォーマットの取り込みを行います。問題なく取り込 めたら、エラーが発生して取り込めなかったプロジェクトの生成を行って、フォーマットを取り込みま す。

注) M-Designer を使用している PC のアンチ・ウィルス・ソフトと Windows のファイア・ウォールが 原因で、正しくプロジェクトの生成が行えないことがあります。そのような場合は、それらを一時的に 停止してから、プロジェクトの生成を行います。



第4章 M-Designer の他の機能を使用する

第3章では、標準的な帳票を例に M-Designer の基本的な使用法をご紹介しましたが、M-Designer には他に多 くの便利な機能があります。ここに記載した機能以外に必要とされるものがありましたら、Mapping サポート の窓口(mapping@belldata.co.jp)にお問い合わせください。

4.1 データを1次元バーコードで表示する

- 1次元バーコードは、M-Designerと一緒にインストールしたバーコード用のフォントを使用して表示しま す。バーコードとして表示する範囲の桁を指定したゾーンのプロパティで、次のように設定します。 •タイプ:バーコード
- サブタイプ:バーコードの規格(次の中から選択します。EAN13, EAN8, EAN128, UPC, Code128, CODE39 CD あり/無し, インターリーブ 2/5 CD あり/無し, Industrial 2/5 CD あり/無し, NW7, 郵便番号
- •フォント:バーコード用のフォントの名前には先頭に "BC" が付いています。名前の最後に "L" が付くフ ォントを指定すると、HRI(英数字で表したバーコードのデータ)をバーコード下部に表示します。
- •フォントのサイズ:バーコードのサイズの内、横幅は、フォントのポイント数で決まります。
- 高さ(%):フォントに対する上下方向の拡大縮小率によって、バーコードのバーの長さを調整します。バーコードフォントを使って HRI も表示している場合は、HRI の文字も拡大縮小されます。そのような場合、HRI 付のフォントを使用しないで、HRI は文字のゾーンとして指定すれば、拡大縮小の影響はありません。



CODE39 のバーコード(HRI 付)を指定した例のプレビュー画面



• 領域に合わせる:ゾーンの大きさによって、バーコードの大きさを指定します。フォントの拡大縮小に よってバーコードの大きさを指定するよりも自由度の高い調整が可能です。



4.2 データを QR コードで表示する

QR コードは、ゾーンのプロパティで、次のように設定します。

- タイプ:バーコード
- サブタイプ:QR Code
- 幅: QR コードの大きさ "1" から "15" の範囲で指定します。
- エラーレベル: 7, 15, 25, 30% から選択します。
- エンコーディング: AUTO, ALPHA, NUMERIC, BYTE から選択します。
- 領域に合わせる:チェックを入れると、QR コードの大きさを左画面のゾーンの長方形の高さに合わせ て調整できます。("幅"は表示されません)





4.3 メモリーゾーンを使って、複数のデータを連結して QR コードで表示する

メモリーゾーンは、指定した範囲のデータを文字や数値として記憶し、必要によっては複数のメモリーゾ ーンを連結して、1つの値として表示するためのゾーンです。

注)メモリーゾーンは、帳票には表示されません。

ここでは、複数の場所にある住所データを連結して、1 つの QR コードとして表示する例を示します。

i. スプールデータの中の別々の場所にある、郵便番号、住所1行目、住所2行目に対して、左画面に3つ のメモリーゾーンを指定します。プロパティの設定は、次のように行います。(メモリーゾーンは左画 面ではピンク色に表示されます)

•名前: "MQR1", "MQR2", "MQR3"

- •タイプ:メモリ
- ・サブタイプ:テキストメモリ(対象のデータを文字として扱うので、テキストメモリを選択します)
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・</li





- ii. 表示する QR コードのゾーンを次のようなプロパティで指定します。
 - 後ろに印刷する文字: [[MQR1]][[MQR2]][[MQR3]]
 注) "1"で指定したメモリーゾーンの名前を、それぞれ大かっこ2つずつで囲んで並べることによって、3つのメモリーゾーンで記憶した文字列を連結してQRコードのデータとします。
 - 長さ:"0"(スプールデータは使用しないので、"0"とします)
 - タイプ:バーコード
 - サブタイプ:QR Code
 - 注)1次元バーコードを指定することも可能です。
 - 領域に合わせる :チェックを入れる

📻 🔲 - 🔊 (° 😡 =								-	o x	
ホーム(H) 編集(E) 表示(V)	Mapping								Style 🔻 (0
👘 🦿 切り取り(T) 🔛 複製(D)	BCEanL 10 J B U	む アンカー	\mathbf{Z} ゾーン	▶ 選択		ポックス 🌸 コンポーネントの表示				
し コピー(の)		G 固定グループ	🏀 RFID	/線	👥 🖂	可変要素				
ダフォーマットのコピー		G,可変グループ		四角	杉 🚺 グラフ					
クリッフホード	システムフォント	クループ	ソーン			挿入				
QRCODETEST.mp* BAYTOPD1.mp*	×			Þ	ノロバティ				ą.	×
				<u>^</u>	日名前					â
					各別		QR			
MQR1					コルノド 前に印刷する1	7±				
					後ろに印刷する	() 5≠≠				
MOR2					文書の中	の位置	n			
marca					x		82.97 10/mm			
MODO					Y		171.02 10/mm			
MQRJ					₩.		176.10 10/mm			
Ŭ,	Ĭ				高さ		110.06 10/mm			
					□ 位置					
	Ļ				R		1			
					<i>長</i> さ		0			
					先願行		1			
	•				<i>R</i> /₹	•	0.			
				_	- J -991)	Kurruk A			
会社名					サブタイプ		OR Code			
					B /5-3-15	:				
					領域に合わせる	3				
					空白文字のあ	るパーコード				~
					ゾーンの後に追	加する文字				
<				>	データビュー	c\mapping\demo1.pag - (1/6)	D//ティ			
【 ◀ 1/6 ▶ ▶ 単位 10/mm	× X 82.97 ♀ Y 171.02 ♀ W 176.10 ♀ H 110.06 ♀	QR				Draw F Map F	Draw B Map B 🗐 🗟 🔍 100%	0		ŧ

3. プレビューすると、次のように3か所のデータを1つのQRコードで表示します。

📻 🖬 - 🔊 (° 🚺 =					-	ð ×
ホーム(H) 編集(E) 表示(V)	Mapping					Style 👻 🔮
☆ 切り取りの 田 複製の ふっピー(c) メフォーマットのコピー	BCEanL • 10 • <i>I</i> B U ■ ■ ■ ▲ フォントの色 •	サンカー Z G 固定グループ G 可変グループ G 可変グループ	ゾーン RFID /線 □四角	 ホテキストボックス キュンボーネントの表示 配 ロゴ 可変要素 形 りクラフ 		
クリップポード	システムフォント	グループ ソ	ノーン	挿入		
QRCODETEST.mp* BAYTOPD1.mp*	×		⊳	プロパティ		ф)
			^	□ 名前		-
				名前	QR	
				コメント		
				前に印刷する文字		
				後ろに印刷する文字	[[MQR1]][[MQR2]][[MQR3]]	
				□ 文書の中の位置		
				x	82.97 10/mm	
				Ý 47	171.02 10/mm	
10000	0				176.10 10/mm	
				前で	110.06 10/mm	
132536270					4	
San San San					0	
22023-242 2				先頭行	1	
					0°	
	•			□ データタイプ		
		-+		917	バーコード	
	人国院会議文	てませい	ンタ	サプタイプ	QR Code	
			•	□ バーコード		
	÷7			領域に合わせる		
	出			空白文字のあるパーコード		
	P1 ⁻			ゾーンの後に追加する文字		
¢			>	データビュー - c\mapping\demo1.pag - (1/6)	ל <u>םול</u> דין	
▲ 4 1/6 ▶ ▶ 単位 10/mm	▼ X 82.97 ♀ Y 171.02 ♀ W 176.10 ♀ H 110.06 ♀	QR		Draw F Map F	Draw B Map B 🗐 🗏 🧣 100% - 🕞 -	



4.4 メモリーゾーンを使って、数値を3桁区切り表示にする

M-Designer には、スプールデータの中のデータに対して、四則演算を行う機能があります。そして、数値を1で割ることによって、3桁区切りのカンマの無い数値データに対して、自動的にカンマを追加して表示させることができます。そのためには、次のようにメモリーゾーンを使用します。

- 対象となる数値の桁の範囲に対して、メモリーゾーンを指定します。(次の例では、比較のために、左の欄の数値はそのままで、縦罫線(点線)で3桁区切りを表示し、右の欄の数値に対して3桁区切りのカンマを追加します)プロパティの値は、次のように指定します。
 - 名前:MEM1
 - 長さ:7(数値データが最大7桁の場合)
 - タイプ:メモリ
 - サブタイプ:整数メモリ

	4 ×
Biblishing MS Mincho 11 II III IIII IIII IIII IIII IIII IIII IIII IIII IIII IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII	# ×
APD/R1/P9 フォーマットのコピー フリップホーマットのコピー フリップホート システムフォント * designemmo* x * designemmo* x * designemmo* x * MEM1 / 0 * MEM1 / 0 * MEM1 / 0 * MEM1 / 0 * Approximation and the set of the set o	* * *
クリップポード システムフォント 生成する フレビュー ウィンドワの * designemp* x p デーグニー - c/mapping/mg/yspit.pag- (1/2) p * 0 0 3 4 0 1 5 9 0 3 4 9 1 2 2 3 MEM1 0 3 3 0 3 4 9 1 2 2 3	4 ×
$\frac{1}{2} = \frac{1}{2} + \frac{1}{2} + \frac{1}{2} - \frac{1}{2} + \frac{1}$	
70 80 90 3401590 33,0 3491223	1
MEM1 /0 3 3 4 0 1 5 9 0 3 3 4 0 1 5 9 0 3 4 9 1 2 2 3	
MEMI/U 33, 3491223	
150000 3341223	
118279 3222944	
35000 3187944	
80850 3107094	
	> -
	X ayle - @
● 「切り取りの 田 複製の MS Mincho 11 I B U ● 「フロジェクトの醸造付け 」 データストリームの読み込み ジェバタ ウォーターマーク ■ 日 植製の MS Mincho 11 I B U ● デージェクトの建造付け □ コピー(0)	
「オフィットのコピー 「「「「「「「」」」、「「「」」」、「「」」、「「」」、「「」」、「」、「」、「	
クリックホード システムフォント 生成する フレビュー ワインドワハリ	
	# ×
100/h	
<i>bh⊂iD€(\$32≠</i>	
後ろに印刷する文字	
MFM1 /0* * 1778.00 10/mm	
y 396.24 10/mm	
海市 136.31 10mm	
構 136.31 10/mm 通 さ 38.94 10/mm	
# 138.31 10/mm 第注 38.94 10/mm □12面 ************************************	
## 138.31 10/mm 第注 38.94 10/mm □ 位置 ポポ 81 ポポ 7	
第 138.31 10 mm 第 38.94 10 mm 位置 0位置 炭 7 ソカフセット 0 10 mm	
第二 136.31 10/mm 第二 38.41 10/mm 第二 38.44 10/mm ● 位置 ・ ※ 81 第二 7 ジオビックト 0 10/mm 第音 0 '0	
第 136.31 10 mm 第 38.410 mm ○ 位置 7 ※ 81 ※ 7 ※ 7 ※ 0.10 mm ※ 7 ※ 0.10 mm ※ 7 ※ 7 ※ 0.10 mm ※ ※ ※ 0.10 mm ※ ※	
第二 138.31 10 mm 第注 38.94 10 mm □ 位置 パ 第注 38.94 10 mm □ 位置 パ 第注 38.94 10 mm ○ 位置 パ 7 マ オブセット 0 10 mm 廃き 0 ○ 2 □ - 少タイブ - ジスブ - ジス - ジスブ - ジス - ジス	
第 138.31 10 mm 第 38.94 10 mm 第 38.94 10 mm 「0置 10 ダン 51 東き 7 ジンガンウト 0 10 mm 房き 0* 〒 -ブル 10 デージタイク 51 ダブ メモリ ガブキイブ 壁鉄メモリ	
第二 136.31 10mm 第注 38.31 10mm 第注 38.410mm ○ 位置 ※ 81 ※ 81 ※ 7 ※ 7 ※ 7 ※ 7 ※ 7 ※ 7 ※ 7 ※ 7	
第	



- メモリーゾーンに対して "1 で割る" 計算を行う数値計算のメモリーゾーンを指定します。これは "1" のメモリーゾーンをコピーペーストしてから、プロパティの値を次のように設定します。
 - •名前:MEMC1
 - •後ろに印刷する文字:[[MEM1]]/1
 - ① 2重の大かっこでメモリーゾーンの名前を囲みます。
 - ② 小数点以下の桁数を指定する場合、例えば2桁の場合は、"1.00"と指定します。
 - •長さ:"0" (スプールデータは使用しないので、"0" とします)
 - •タイプ:メモリ
 - サブタイプ:数値計算

🝙 🖬 • 🤊 (* 👔) =					– a ×
ホーム(H) 編集(E) 表示(V) Mapping					Style 👻 🔞
** 切り取り(n) 目 複製(2) 助り付け(P) オフォーマットのコピー	ho * 11 * I B U 書 ■ <u>A</u> フォントの色 *	▶ ● フ フロジェクトを生成する ● フ	プロジェクトの関連付け オーバーレイのエクスポート 2 クロプト/ss	□ データストリームの読み込み ジ □ マルチプレビュー フレビュー □ フレビューの保存	XPS ウォーターマーク ウィンドウ(W)
クリップボード	システムフォント	生成	する	ゴルドュー	ウィンドウ(M)
d designer mpt	STO MOTO 1		ト プロパティ	7702	a x
			▲ ■ 名前		
			名前		MEMC1
			コメント		
			前に印刷	1827	
			क्षे उत्या	NF3×≠	[[MEM1]]/1
			三 文書(の中の位置	
	MFM1 / (×		1778.84 10/mm
			Y		453.81 10/mm
	¢		45		137.16 10/mm
	MFMC1	/• 💻 📋	満さ		38.94 10/mm
		•	- 位置		
			N		1
			長さ		0
			Y オフセッ	<i>د</i>	0 10/mm
			/A.E	-	0°
			H 7-7	J↓ 	
				917	1771
			21/		2-tt) Ne/dml/tr
			- 84		\$X105134
			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		<i>b</i>].
	1		×		
		MENCI		- comapping (ings)spit.pdg - (1/2) (1/() 4	
■ 1/2 ■ 単型 10/mm * X 1//8.8	I ↓ T 455.01 ↓ VV 137.16 ↓ H 38.94 ↓	MEMC1		Draw F Map F Draw B	Map 8 8 9 100% 8 9 000

- 3. 計算した結果を表示するためのゾーンを、次のプロパティを使って指定します。
 - •名前:C1
 - •後ろに印刷する文字: [[MEMC1]](計算結果を表示するために数値計算ゾーンの名前を指定します)
 - •長さ:"0"(スプールデータは使用しないので、"0"とします)
 - •タイプ:メモリ、サブタイプ:メモリ置換

注) "1"の位の数字の位置を指定し易くするために、この例では右寄せも指定しています。



(00)
opale

プレビュー画面	
	- 6 ×
→ ホーム(H) 編集(E) 表示(V) Mapping	Style 👻 😥
* 切り取りの 田 複製回 Biblititing プローマットのコピー グリップボード システムフォントの色・ コピーにの コピーにの コピーにの コピーレイのエ アロジェクトを生成する 物 オーバーレイのエ 「ロジェクトを生成する」 生成する	唐付け クスポート アレビュー 、 スルチブレビュー 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、
d designer.mp* ★	データビュー - c:\mapping\mqsysprt.pag - (1/2) ローメ
	20/03/05
	$04/01 \sim \mp 2019/04/30$
3 401 500	
5,401,590	
3 /01 223	90 3401590
	3 3 4 9 1 2 2 3
150000 3 341 223	
	118279 3222944
118279 3 222 944	-
	35000 3187944
	v
	T-YEIC(mapping/mqsysprt.pag-(1/2) JU/(T1

4.5 ゾーンに対して、実行するための条件を設定する

"4.4"の例では、スプールデータの無い行の金額欄に対しても計算式を実行したため、計算結果として"0" が表示されています。ここは本来、何も表示されない、つまり計算を行わないことが必要です。そのた め、計算を行う行の条件を"4.4"のメモリーゾーンに追加します。

ここでは、対象の行の金額欄の1の位に、何かデータがあることを計算するための条件とします。1の 位、すなわち 87 桁目にデータがあることを条件としたのは、金額が例え "0" の場合でも "0" というデータ が存在するからです。

次のようにして条件を追加設定します。

1. メモリーゾーン"MEM1"を指定した状態で、"表示"タブメニューにある"条件"にチェックを入れます。 すると、次のように右端に3つ目の画面として"条件"の画面が表示されます。

				- 0 ×
・ ホーム(H) 編集(E) 表示(M) Mapping				Style 👻 🙆
ウリッド				•
d designer.mp* x	プロパティ	Ф ×	条件	4 ×
	- 名前		ភូរ	レーナ
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	名前	MEM1	条件	なし
	4480		新規	
	前に印刷する文字		前の間隔	0 10/mm
	後ろに印刷する文字		鍵ろの間隔	44.02 10/mm
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	□ 文書の中の位置		条件	\$ なし
MFM1 / 0	x	1778.00 10/mm		
	Y	396.24 10/mm		
	45	136.31 10/mm		
MFMC1 /	眉さ	38.94 10/mm		
	□ 位置			
	N	81		
	Æð	7		
	Y #70%	0 10/mm		
	肉き	0"		
	⊞ テーブル			
	□ データタイプ			
	917	XEI		
	サプタイプ	整数メモリ		
	□ 条件			
	秦件			
	ゾーン実行条件			
ć	データビュー - c:\mapping\mqsysprt.pag	- (1/2) プロパティ		
I		Draw F Map F Draw B Ma	рв 🛛 🗏 🕾 🔍 100% -	



2. "新規"に条件名(この例では"a")を入力して実行キーをクリックすると、その下に ^{追加} ボタンが現れ ますので、これをクリックします。

プロパティ	д×	条件	ф Х
🗆 名前			グループ
名前	MEM1	条件	なし
コメント		新規	a
前に印刷する文字		追加	追加
後ろに印刷する文字		前の間隔	0 10/mm
□ 文書の中の位置		後ろの間隔	44.02 10/mm
x	1778.00 10/mm		条件なし
Y	396.24 10/mm		
幅	224.36 10/mm		
廣さ	38.94 10/mm		
□ 位置			
列	81		
<i>長</i> さ	7		
Y オフセット	0 10/mm		
向き	0°		
⊞ テーブル			
🗆 データタイプ			
タイプ	メモリ		
サプタイプ	整数メモリ		
□ 条件			
条件	なし 🗸		
ゾーン実行条件			
データビュー - c:\mappir	ng\mqsysprt.pag プロパティ	新しい条件	
	Draw F Map F Draw B M	ap B 🔳 🗃 🗣 🥄	100% - 🕞 👘 🗸 🕀

- 3. "追加"欄が現れて 追加 ボタンが現れますので、これをクリックします。
- 4. 次のようにして、"87 桁目に何かデータがあれば"という条件を設定します。
 - 演算子 : There isn't 行 : 現在 Between columns : 87

• And : 87

- 値:1桁のブランク(画面には表示されません)
- 注1) "演算子"の "There isn't" とは、もし 87 桁目に 1 桁のブランク(値)が"<u>無ければ</u>"、即ち 87 桁目に 何かデータがあれば実行するという条件を意味します。
- 注2)"行"の"現在"とは、グループで指定した範囲にある行の各行においてという意味です。
- 注3) "Between columns" で指定した桁と、"And" で指定した桁の間を表します。
- 注4) 追加 ボタンをクリックして更に複数の条件を設定し、"ロジック"欄の中で"1 and (2 or 3)"等の 論理式を指定することも可能です。ただし、複雑な論理式は避けてください。





5. "値"を入力した後、実行キーをクリックすると、次の画面のようにメモリーゾーン "MEM1" に条件 "a" が指定されたことを確認できます。

 ホーム(H) 編集(E) 表示(V) Mapp グリッド ジーデータビュー 「「オブジェクトツリー」 上部ルーラー ジープロパティ(P) ジーダブパー(T) 左ルーラー ジー発件 キニー 	ing 入び 文字リストU				Style × (
数示/카表示 designer mpt		ト プロパティ		1 x 冬件	л
					グループ
		名前	MEM1	条件	a
				新規	
		前に印刷する	<i>x≠</i>	制除	肖耶余
		録うに印刷す	o x ź	前の間隔	0 10/mm
	•	三 文書の中	の位置	鍵ろの間隔	42.33 10/mm
	MEM1 / 0 - 5	×	1778.00 10/mm		条件
		Y	396.24 10/mm	追加	追加
		45	224.36 10/mm	□ 条件 1	
	MEMC1 $10 - 721$	廣さ	38.94 10/mm	演算子	There isn't
	MEMCI / U = /L U	∠ □ 位置		fī	現在
		M	81	Between columns	87
	11 / 0 - 72	長さ	7	And	87
		Y オフセット	0 10/mm	纑	
		向き	0°		ロジック
		🕀 テーブル		ロジック	1
		🗆 データタイ	17		
		917	<i>у</i> ЕУ		
		サプタイプ	整数メモリ		
		□ 条件			
		条件	а		
		V			

 他のメモリーゾーン、"MEMC1"と"C1"、そしてスプールデータをそのまま表示するために元々あっ たゾーン(Z11)にも同じ条件が当てはまりますので、それぞれをクリックして指定した後、"条件" に 作成済みの "a" を指定します。

🕞 🖬 - 🤊 🕫 🕞 =				– ø ×
ホーム(H) 編集(E) 表示(M) Mapping				Style 👻 🕢
 グリッド マ デーダビュー オブラェクトツリー 上部ルーラー マ ブロ(ティ(n) マ タブパー(n) 左ルーラー マ 条件 表示が表示 				
d designer.mp* x ▷	プロパティ	ά×	条件	# ×
	□ 名前			ヴルーナ
	名前	MEMC1	条件	なし
	コメント		新規	
	前に印刷する文字		前の間隔	0 10/mm
	後ろに印刷する文字	[[MEM1]]/1	後ろの間隔	44.02 10/mm
	□ 文書の中の位置		1	条件なし
MFM1 $/0 - 2$	x	1778.84 10/mm		
	Y	453.81 10/mm		
	榴	295.48 10/mm		
$MFMC1 (0 - t^2)$	高さ	38.94 10/mm		
	□ 位置			
$11/0$ k_1	N	1		
(1 - 72)	長さ	0		
	Y オフセット	0 10/mm		
	向き	0*		
	⊞ テーブル			
	□ データタイプ			
	917	メモリ		
	97917	鼓値計算		
	□ 条件			
	朱件			
	ゾーン実行条件			
¢ >	データビュー - c:\mapp	ing\mqsysprt.pag プロパティ		
【 ◀ 1/2 ▶ ▶ 単位 10/mm ▼ X 1778.8 \$ Y 453.81 \$ W 295.48 \$ H 38.94 \$ MEMC1		Draw F Map F Draw B Ma	ap B 🔲 🖀 🔍 100%	



ここまでの状態でプレビューすると、次の画面のように金額のある行のみが表示(実行)され、そのため、金額の無い行が表示されず、行が詰まった状態になります。この例のように、グループの中にあるゾーンに対して条件を設定した場合には、条件の結果が "真"のゾーンしか実行(表示)されないため、条件を設定していないゾーンや、条件の結果が "偽"の場合の値は実行(表示)されません。そのため、この例では、"87" 桁目にデータの無い行を表示するための条件を付けたゾーンを追加する必要があります。

	\ 🖬 = 49 (* 🚺) =				– 0 ×
9	ホーム(H) 編集(E) 表示(V)	Mapping			Style 👻 🍘
貼り付	☆ 切り取り(n) 複製(回) □ コピー(C) け(P) ダフォーマットのコピー	M5 Mincho * 12 * I B U ■ ■ ▲フォントの色 *		 ▲ 遅沢 へ テキストボックス → コンボーネントの表示 / 線 風ロゴ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	クリップボード	システムフォント	グループ ゾーン	挿入	
4	designer.mp ×		Þ	データビュー - c:\mapping\mqsysprt.pag - (1/2)	д ×
0	15000 1182 3500 8085	3, 401, 5 3, 491, 2 3, 341, 2 79 3, 222, 9 00 3, 187, 9 50 3, 107, 0 3 057 0	590 223 223 944 944 994	34015 税 戻 八 年3月分 当金 算 精算 払 精算 支払	90 340159 (33 349122 3 150000 334122 3 118279 322294 4 35000 318794 4 80850 310709 4 50000 305709 4 2500 305459 4 50000 300459 4 27280 297731 4
	250	00 3,054,5	594 594	他精算 	1496 294581£ 400000 254581€
	5000		501L	<	3
<			>	データビュー - c\mapping\mqsysprt.pag - (1/2) プロパティ	
4	1/2 > > 単位 10/mm -	X 47 🗘 Y 9 🗘 W 1 🔅 H 1 🗘		Draw F Map	F Draw B Map B 🗏 🗟 🔍 18% - 🕞 🛡 🗕 🕀

スプールデータをそのまま表示するために元々あったゾーン(Z11)をコピー・ペーストして "Z12" というゾーンを追加します。"表示" タブで "条件" にチェックを入れ、条件画面を表示します。"新規" 欄に条件名 "b" を入力して実行キーをクリックすると、"新規"の直下に "追加" 欄が現れますので、表示された 追加 ボタンをクリックします。





- 9. その下の"追加"欄に 追加 ボタンが現れますので、これをクリックします。
- 10. 次のようにして、"a"とは逆の条件として、"87桁目にデータが無ければ"という条件を設定します。
 - 演算子: There is
 - 行:現在
 - Between columns : 87
 - And : 87
 - 値:1桁のブランク

彩件		φ×
	グループ	
条件	b	
新規		
削除	肖耶余	
前の間隔	0 10/mm	
後ろの間隔	44.02 10/mm	
	条件	
追加	追加	
□ 条件 1		×
演算子	There is	
ŕτ	現在	
Between columns	87	
And	87	
le la		
	ロジック	
ロジック	1	

Draw F Map F Draw B Map B 🗐 🗑 🤗 100% - 🕞 — 🖓 🕀

11. 上記の値を入力して実行キーをクリックすると、ゾーン "Z12" に条件 "b" を設定できます。プレビュ ーすると、次の画面のように正しく表示できたことを確認できます。

📻 🕞 🖌 🥙 🖓 🔻				– 0 ×
→ ホーム(H) 編集(E) 表示(V)	Mapping			Style 👻 🎯
☆ 切り取り(n) 田 複製(D) い コピー(G) い コピー(G)	MS Mincho * 11 * I B U ■ ■ ■ <u>A</u> フォントの色 *		付け スポート フレビュー コレビューの保存	み ひ xps ウォーターマーク ウィンドウ(M)
クリップポード	システムフォント	生成する	プレビュー	ウィンドウ(N)
d designer.mp [★] ×		4	データビュー - c\mapping\mqsysprt.pag - (1/2)	ů ×
		^		
101500		401 500	3401590	3401590
£01590		401,590	89633	3 4 9 1 2 2 3
				150000 3341223
00000		401 000		118279 3222944
89033	3,	491, 223		3 5 0 0 0 3 1 8 7 9 4 4
	150000 3	341 993		8 0 8 5 0 3 1 0 7 0 9 4
	100000 3,	041, 220	20	50000 3057094
				2500 3054594
	118279 3,	222, 944	-	50000 3004594
				27280 2977314
<	32000 3	107 044	・ く データビュー - c\mapping\mgsysprt.pag - (1/2)	20000 ブロパティ
【 ◀ 1/2 ▶ ▶ 単位 10/mm	▼ X 184.57 ‡ Y 1007.5 ‡ W 1921.9 ‡ H 75.35	Z11	Draw F Map F	Draw B Map B 🗏 🗧 🔍 23% 🔹 🕞 – 🖯 — 🔶 🕀



4.6 ページ全体に対して条件を設定して、鑑と明細のページを切り替える

請求書や見積書のスプールデータの場合、1 ページ目は "鑑" のページ、2 ページ目以降は "明細" のページ というように、複数の種類の帳票設計(フォーマット)をページ毎に切り替えて適用する場合があります。 スプールデータの中に、フォーマットを切り替えるための "情報" があれば、それを条件に設定すること で、次のようにして実現できます。

この見積書の例では、1ページ目は"鑑"、2ページ目以降は"明細"のフォーマットを適用します。切り替えのための情報は、ページの右上にある"見積書番号"が、鑑のページでは5行目、明細のページでは4行目にあることです。

 鑑のページの帳票設計が完了した後、"DrawF" 画面か "MapF" 画面どちらかの画面で、画面上の要素 をどれも指定しないようにして、プロジェクト全体のプロパティを表示します。更に "表示" タブメニ ューにある "条件" にチェックを入れて、次のように条件画面を表示します。これによってページの設 計(フォーマット)全体に対する条件を設定します。





- 条件画面の"追加"欄にある 追加 ボタンをクリックします。このスプールデータにおいて1ページ目の見積番号(データビュー画面上の "077600001")の先頭文字は、必ず5行目の106桁目にあるので、次のような条件を、条件画面で設定します。
 - 演算子 : There isn't ●行 : 5 Between columns : 106 And : 106



 同様にして、"明細"のページに対しても条件を設定します。先ず、明細のフォーマットのプロパティ では、"鑑"と同じフォーマット名と "鑑"のシーケンス番号(00010)と連番となるシーケンス番号 (00020)を指定します。



 条件画面の"追加"欄にある 追加 ボタンをクリックします。このスプールデータにおいて2ページ目 以降のページの見積番号(データビュー画面上の"077600001")の先頭文字は、必ず4行目、106桁目に あるので、次のような条件を、条件画面で設定します。("鑑"のページ、つまり1ページ目の同じ箇所 にはデータが無いので、排他的な条件となります)



• 演算子:There isn't ●行:4

●行:4 ●Between columns:106 ●And:106

値:1桁のブランク



 設定した条件に応じて、ページ切り替え時に正しいフォーマットに切り替わるかを確認するには、"ホ ーム" タブメニューにある "マルチプレビュー" ボタンをクリックした後、"データビュー" のページを 移動していきます。次の画面のように、1ページ目と2ページ目でフォーマットが切り替わることが 確認できましたので、設定した条件が正しいことが分かります。





2ページ目

🝙 🖬 = 🤊 💌 🕢 =															-	a x
ホーム(H) 編集(E) 表示(M) 図形																Style 👻 🙆
「切別取りn 単複製の MS Mincho 11 I B U MS Mincho 11 I B U デーマ デーマ オフィントのビー アオーマットのコピー エー エー	Joši,	▶ ♪トを生成す	「ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・	i連付け ェクスポー	-ト		- <mark>6</mark>	データ マルチ プレビニ	ストリー <mark>プレビュ</mark> ューの何	トの読	∂ні∆дн	19 X	PS ウォー	-ターマ・	-ク ウィンドウ(w)	
クリッフボード システムフォント		= nV_	生成する							JUE	1-			a ×	ワインドワ(N)	
A BATTOPD1.mp* BAYTOPD2.mp* ×	P	7-961-	- c\mapping\demoi.	pag - (2/	0) - 50	:q:0002	0							* ^	*11	4 X
		Þ		10					20					30 🔨	追加	追加
<u>h. 0730001</u>		-													□ 条件 1	×
		-													演算子	There isn't
12		-													行	4
70 7157±04% 9240 1 0 2.00 2.00 30 6.4% 77.7% 7.0 1.30023 32 0 1.40															Between columns	106
20.715264 ER0027 2.0 80 120 20.91625537 .005=-3. E30187 2.0 140 230															And Att	106
W 192237(55) (30)85 (2.8 1.80 M.10				0		入	٢٦	書							/# 	ジック
		_													ロジック	1
		10	135	1	2	ボ	9	2	-	2	Ξ	2	_	F		
		-	273	ד	IJ	\mathcal{Y}	t	Ø	植	物	誌	(第			
		-	296	北	西	沿	岸	ſ	צ	デ	۲	7	ン	•		
		-	323	Р	夕 夕	∍	٢	Jλ	ネ							
		-	389	Þ	ガ		グ	語	入	63	-		숤	8		
		20	902	b	Ċ.	У	タ	-	ŀ	ג	$\overline{\tau}$	1	۲	>		
*************************************		-												~		
	>	データビュー	- c\mapping\demo1	.pag - (2	/6) - 5	eg:0002	20 70	コパティ								
【 ▲ 2/6 ▶ ▶ 単位 10/mm ▼ X 2450.2 ℃ Y 1773.7 ℃ W 0.84 ℃ H 0.84 ℃									Draw	F Ma	F Dr	aw B	Мар В		≅ २ 14% - ⊖	Ū

4.7 データに対応したイメージを表示する

M-Designer には、スプールデータの中のデータに対応したイメージを表示する機能があります。例え ば、"部品番号" に対応した部品の写真、郵便番号に対応した角印付きのロゴと営業所の住所が考えられま す。

こでは、社員番号に対応した社員の印影を表示することにします。イメージの切り替え表示には、次の条 件を満たす必要があります。

- 表示するイメージのファイルは "jpg" 形式と"png"形式です。
- イメージファイルは、IFS(FTP 接続の場合は PC にも)の "¥mapping¥lgobitmap¥" に保存します。
- ファイル名の"データ"の部分は、英数半角文字です。
- 表示されるイメージのサイズは、元のイメージ・ファイルの持つ縦横のドット数(解像度: 300dpi)によって決まります。(M-Designer 上でサイズを変更することはできません)
- 1. この例では、見積番号の先頭4桁が社員番号という設定です。次のように先頭4桁の値を使ってゾーン"STAMP"を指定します。





2. ゾーンのプロパティは、次のように設定します。

 タイプ:ツール ●サブタイプ:イメージ 		
		– a ×
		Style - 🕡
	テキストボックス みコンボーネントの表示 ロゴ 回変要素 グラフ 挿入	
A BAYTOPD1.mp* × BAYTOPD2.mp*	プロパティ	# ×
A	□ 名前	
	名前	STAMP
	コメント	
	前に印刷する文字	
	後ろに印刷する文字	
	□ 文書の中の位置	
· 班 /	x	1860.12 10/mm
	Y	1030.39 10/mm
	瘤	112.60 10/mm
	高さ	36.40 10/mm
	□ 位置	
	N	106
	<i>長さ</i>	4
	先頭行	5
	向き	0°
	= データタイプ	
·····································	917	ツール
	サプタイプ	イメージ 🦰
<u>金額 /0 - なし</u>	and the second second second second	
× × × × × × × × × × × × × × × × × × ×	Draw F Map F Draw B	Map B B 8 25% +

- 3. この例では、スプールデータの社員番号は "0776" なので、¥mapping¥lgobitmap¥0776.jpg というファ イルがあれば、次のように、社員番号に対応した印影が表示されます。
 - 注) ¥lgobitmap フォルダーの下に複数のサブフォルダーを作って jpg ファイルを分けて保存すること ができます。そのためには、プロパティの "前に印刷する文字" 欄に "sub1/" ("sub1" はサブフォル ダー名)と入力します。

🕞 🕞 - 🔊 (° 🚺) -					- 0	×
🖤 т-Д(н) 🕷	i集(E) 表示(V) Mapping					Styl	ie - 🕜
ばり取りの いののの いのの いののの いのの いのの	※ 2012 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10	 11 ・ I B U ▲フォントの色・ システムフォント 	 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 → 選択 ▲ ▲ ※ % %<!--</th--><th>テキストボックス テロンボーネントの表示 コゴ 回変要素 グラフ 挿入</th><th></th><th></th>	テキストボックス テロンボーネントの表示 コゴ 回変要素 グラフ 挿入		
d BAYTOPD1.mp*	X BAYTOPD2.mp*			Þ	プロパティ		ά×
				^	□ 名前		
					名前	STAMP	
鼤		担当 。			1440		
					前に印刷する文字		
(<u>本</u>)					發るに印刷する文字		
日、		(T_{\perp})			□ 文書の中の位置		
H¥4					x	1860.12 10/mm	
「水水」		\ 【天/			Y	1030.39 10/mm	
-		XID			45	112.60 10/mm	
					痛さ	36.40 10/mm	
					□ 位置		
					<i>N</i>	106	
					Ęć	4	
	-				先顾行	5	
					<i>肉</i> き	0*	
	全	反 反 日			917 Mada and	ツール	
	<u> \\/</u>	口只			7/91/	13-9	
<	29	91,660		~	データピュー - c/manning/demo1.nag - f1/		
I ◀ 1/6 ►	▶ 単位 10/mm × X 1860.1 ≎ Y 1	030.3 ‡ W 112.60 ‡ H 36.40 ‡	STAMP		Draw F Map F	Draw B Map B 🗏 🕾 🥄 25% 🗸 😑 🔍	- +

4.8 透過型のイメージを表示する

会社角印等の印影を会社名や住所の上に配置する場合、「透過型」のイメージとして貼り付ける必要があります。DrawF 画面に貼り付けるイメージ(bmp、jpg、tif 形式のイメージ・ファイル)では、非透過型に



なるため、下にある文字が隠れてしまいます。そこで、透過型のイメージ・ファイルとして png 形式の ファイルを用意し、M-Designer では以下の手順に従って MapF 画面に定義します。



- 透過型の png ファイルを用意します。上記の例では、「佐藤」の印影イメージ・ファイル(jpg 形式)を 下記サイトで透過型の png ファイルに変換しました。生成される png ファイルはサイズが固定なの で、生成後、Windows 付属の"フォト"を使って、サイズを変更しています。 https://inkan.tojiko.net/
- 2. 印影を貼り付けるページのスプールのデータの中から、印影の必要などのスプールにも必ず存在する英数文字を使って、印影のファイルのファイル名として、¥mapping¥lgobitmapに保存します。("<u>4.7 データに対応したイメージを表示する</u>"参照)
- 3. そのスプール・データに対して、ツール→イメージを指定したゾーンを、MapF画面に追加します。



注) 透過型 png ファイルは、プレビュー画面では表示されません。プロジェクトを生成してフォーマットを取り込み、Mapping OPALE が生成する PDF ファイル上で確認します。



4.9 INDEX ゾーンを活用する

ゾーンの種類の中に、タイプは"メタデータ"、サブタイプは"Index"というものがあります。このゾーン を活用すると、次のような使い方ができます。

 PDF ファイルを生成する際に、Index ゾーンに指定した値毎に分割し、ファイル名の中に Index ゾ ーンの値を含む PDF ファイルを生成する。

1本のスプールファイルを元に PDF ファイルを生成する際に、例えば、請求書番号やお客様コード といったスプールの中の値毎に分割して作成する必要がある場合があります。そのために、予め Mapping のコマンド(MAPSORTPAG)を使用してスプールを分割してから、PDF ファイルを生成す る方法があります。その他に、スプールを分割せずに、PDF ファイルを生成する際に分割する方法 があります。後者の方法のためには、帳票設計の際に、分割のキーとなる値に対して予め Index ゾー ンを定義します。Index ゾーンの値は、M-Designer 上のプレビュー画面や、生成された PDF ファイ ルには表示されません。詳細は、マニュアル"Mapping OPALE コマンドの活用方法"の中の"1本の スプール・ファイルから、請求書番号単位で分割した PDF ファイルを作成する"を参照してくださ い。

<MapF データビューの画面 請求番号を Index ゾーンとして定義する例>





👘 🛷 切り取り(n) 🔠 複製(回)	MS Gothic - 8 - I B U	む アンカー	Z ゾーン	▶ 選択	<u>∧</u> 7 +	ストボックス ≱ コンポーネントの表示	
■ □ □ピー(C)		G 固定グループ	🚱 RFID	/線	👥 🖂	可変要素	
オンパックト ダフォーマットのコピー		G,可変グループ		🔲 四角形	「」 グラ	7	
クリップボード	システムフォント	グループ	ゾーン			挿入	
					Þ	วื่อパティ	
					^	□ 名前	
						名前	INVOICENO
						4482	
		-		-		後ろに印刷する文字	
		μĮ		C		□ 文書の中の位置	
	-	Ŷ		U,		x	2252.98 10/mm
						Y	77.04 10/mm
						45	86.36 10/mm
						高さ	27.94 10/mm
						□ 位置	
						析	170
						Ęż	6
						先顾行	3
					- 1	向き	0°
						□ データタイプ	
						917	メタデータ
						サブタイプ	Index
						インデックス名	
					_	EDM へのエクスポート	



Mapping OPALE が生成した PDF ファイルを、文書保管・検索用ソフトウェアやサービスによる検索キーワードを使用した検索できるようにするために、PDF ファイルと同時に、検索キーワードとその値を含む XML 形式のファイルを生成する。

電子帳簿保存法に対応するために、様々な文書保管・検索用ソフトウェアやサービスが用意されて います。そのためには、帳票設計の際に、予め検索用のキーワード(請求書番号、日付、請求金額、 お客様コード等)を Index ゾーンとして定義しておきます。詳細は、マニュアル"Mapping OPALE コ マンドの活用方法"の中の"PDF ファイルと、検索用の XML ファイルを生成する"を参照してくだ さい。

• Mapping OPALE が生成する PDF ファイルに対して、スプールファイルの中の特定の場所の値をパ スワードとする。

Mapping OPALE が生成する PDF ファイルに、パスワードを設定してセキュリティー管理を向上す ることができます。パスワードは、固定の値とすることもできますが、スプールファイルの中の特 定の場所の値とすることも可能です。更に、パスワードには、"所有者パスワード"と"利用者パスワ ード"があり、それらを分けて設定することができます。

"所有者パスワード"は、入力すると PDF ファイルに対してあらゆる操作が可能なものですが、"使用 者パスワード"は、予め許可した操作しか行えないものです。それらのパスワードの指定には、Index ゾーンを使用します。詳細は、マニュアル"Mapping OPALE コマンドの活用方法"の中の"2 種類の パスワードを設定する"を参照してください。

4.10 XPS ファイルをオーバーレイとして取り込む

Mapping OPALE 以外のソフトウェアによって作成済みの罫線や固定文字等のオーバーレイが元々存在し ているので、それを M-Designer に取り込み、DrawF 画面でオーバーレイを作成する代わりとすること が可能な場合があります。"2.3 帳票設計作業の流れを理解する"では、先に MapF 画面でデータの配置を 定義してから、DrawF 画面でデータの位置に合わせて罫線や固定文字を定義する方法をお勧めしていま す。しかし、他のソフトウェアによって既に設計されたオーバーレイがあって、それを M-Designer の DrawF 画面に取り込みたいという場合もあり、それは DrawF 画面を先に定義することになりますが、次 の手順で行います。



既存のオーバーレイを作成したソフトウェアを使って、オーバーレイを XPS ファイルに変換します。XPS ファイルへの変換は、印刷メニューからプリンターに、Windows10 の PC では標準添付の "Microsoft XPS Document Writer" を指定して印刷を行います。XPS ファイルのファイル名と保存先フォルダーを指定して保存します。



2. M-Designer を起動して、"インポート" → "リソース" を選択します。





3. 次の画面が表示されるので、"…"ボタンを押して "1" で保存した XPS ファイルを指定します。"ページの選択" 欄で、読み込むページを指定します。その後、"インポート" ボタンを押します。



 次のように DrawF 画面に、XPS ファイルを読み込んだ画面が表示されますので、通常の帳票設計作 業と同様に、フォーマット名、シーケンスを指定 → データストリームの読み込みを行い、MapF 画 面でデータの配置を設計します。

😱 🖬 • 🕫 🕼 🔹				– 0 ×
ホーム(H) 編集(E) 表示(V)	図形			Style 👻 😥
☆ 切り取りの () () () () () () () () () () () () ()	MS Gothic * 12 * <i>I</i> B U 更要調 <u>A</u> フォントの色 * システムフォント	A レンジン イメージ 静的な表 挿入		ペンの色 - 塗りつぶし - ペン - スタイル 生成する
A X		Þ Pro	perties	# ×
		<u>^</u> [=	パラメーター	^
		71	ナーマット	DEFAUT
		<u>ې</u>	ーケンス	00010
		8ë	明	Default
0148.0 44.0	74L 9	J)	*ント	
		#	有フォルダー	C:\Mapping\
		Æ	- 12	SPLF
			印刷の向き	
		ļ,	面印刷の向き	統
			ブリンター設定	
		A.		A4 (21,0 x 29,7 cm)
		库	())))))))))))))))))))))))))))))))))))	方面
		× ,	<i>察日</i> 今六	66.04 10/mm
and a second sec	**L **	17	the formation of the second se	66.04 10/mm
1.4.7.1		18	#F 6 L 1	0
		87 87	1 m	0
		at		- M
			スプール	<u> </u>
				2
<		> 7	ータビュー Properties Conditions	
【< 1/-1 ▶ ▶】 単位 10/mm	▼ X 4255.3 C Y 1455.4 C W 0.84 C H 0.84 C		Draw F Map F Draw B	Map B 🛛 🗃 🔍 12% - 🕞 🗍 🔶 🔶

注) 読み込んだ XPS ファイルは、そのまま使用することを優先することをお勧めしますが、次の画 面で分かるように、一部の文字の表示に問題がある場合があります。そのような場合は、適宜修正 します。


変更の履歴

- 第1版:初版
- 第1.1版
 - ▶ 現行システム上の Mapping Suite のライブラリ名や IFS のフォルダー構成について、事前の確認作業を追加しました。
- 第2版
 - ▶ "第4章 M-Designer の他の機能を使用する"に、次の項目を追記しました。
 - 透過型のイメージを表示する
 - INDEX ゾーンを活用する
 - XPS ファイルをオーバーレイとして取り込む